

第 2 部 資料編

令和5年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」

募集要項

募集期限 令和5年5月15日(月)～6月15日(木)

厚生労働省が実施する「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・普及・実証のプラットフォーム事業」の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関を募集します。

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行うものであり、予定の件数や予算に到達した時点で募集を終了しますので、予めご了承ください。

なお、募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。詳しくは、当協会までお尋ねください。

公益財団法人テクノエイド協会

目次

1. 目的	1
2. 対象となる機関	1
3. 対象とする介護ロボットの範囲	1
4. 実施内容	2
5. 交付額及び実施件数	3
6. 協力機関の選定等について	3
7. 実施期間	4
8. 実施結果報告の提出	4
9. 関係書類	4
10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先	4
11. 様式	5
様式1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」	5
様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」	6
様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」	7
様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」	8
様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」	10

**令和5年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における
「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」
募集要項**

1. 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっています。

こうした中、厚生労働省では「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」）を実施しているところですが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集します。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とします。

（参考）

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業 ホームページ

<https://www.kaigo-pf.com/>

2. 対象となる機関

- （1）都府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。）
- （2）福祉用具・介護ロボットの普及啓発を行っている機関
- （3）過去に介護ロボットに係るフォーラム等を行った実績がある機関
- （4）その他、本事業の実施が可能であると認められた法人

上記（1）～（4）のいずれかに該当することとする。ただし、（1）の市町村が行う場合、当該市だけではなく所在県の全域をカバーすることとします。

※個人の申請は認めない。

介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県
（令和5年2月時点）

・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・茨城県	・群馬県	・千葉県
・東京都	・石川県	・福井県	・山梨県	・長野県	・岐阜県	・静岡県
・三重県	・滋賀県	・京都府	・奈良県	・和歌山県	・鳥取県	・島根県
・岡山県	・山口県	・香川県	・高知県	・佐賀県	・長崎県	・熊本県
・宮崎県	・沖縄県					

3. 対象とする介護ロボットの範囲

「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改訂）における6分

野13項目に概要する機器及び、介護施設・事業所のサービスの質の向上・効率的なサービス提供に資する機器・システムを対象範囲とします。

ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）

移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り・コミュニケーション	入浴支援
○装着  ・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器	○屋外  ・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器	○排泄物処理  ・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ	○施設  ・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム	 ・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器
○非装着  ・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器	○屋内  ・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器	○トイレ誘導  ・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器	○在宅  ・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム	介護業務支援  ・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器
厚労省・経産省によるロボット技術の介護利用開発重点分野の策定 H24.11月重点分野公表 H26.2月追加改定(青枠) H29.10月追加改定(赤枠)	○装着  ・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器	○動作支援  ・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器	○生活支援  ・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器	

4. 実施内容

以下のとおりとします。地域の実情やニーズに応じて計画してください。

(1) 必須項目

介護ロボット地域フォーラムの開催

①介護ロボットの体験展示

10種類程度の展示を行うこと。

②介護ロボットの試用貸出の受付

当該地域の要望を受付、全国17か所（予定）の相談窓口等に連絡すること。

③介護ロボットに関するシンポジウムの開催

介護ロボットの普及に係るシンポジウムを開催すること。

シンポジウムでは、厚生労働省が行う介護ロボットのプラットフォーム事業の紹介や、開催地の自治体における介護ロボットの開発・導入・普及・活用に係る取組や介護現場の生産性向上に係る取組の紹介を行うとともに、介護ロボットに係る最新動向等について情報提供を行うこととする。

(2) 任意項目

地域フォーラム開催時のイベントとして、福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じた企画を立案していただいて差し支えありません。

例えば、

- ・介護ロボット導入支援事業による好事例の紹介
- ・上手に導入・活用するためのノウハウ、ワークショップの開催
- ・安全体制を確保するための取り組み紹介
- ・ICTやロボット技術を活用した生産性向上に関する取り組み紹介
- ・ロボット技術等を活用した新型コロナ対策や新しい面会システムの取り組み紹介

(3) アンケート調査の実施

アンケート調査を実施し、地域フォーラムの結果を取りまとめてください。

【調査項目】

来場者共通事項

- ・来場者の属性（介護従事者・開発企業等の別、職種等）
- ・シンポジウムに対する意見
- ・体験展示・試用貸出に対する意見
- ・介護ロボットの利用意向
（自身が介護者として介護ロボットを使用する意向があるか、被介護者となった場合に介護ロボットを使用した介護を受けたいか等）
- ・相談窓口やリビングラボの利用の意向や意見

対介護施設

- ・介護ロボットの導入・活用状況（導入分野・導入台数）
- ・介護ロボットの導入・活用にあたっての課題

(新型コロナウイルス感染症の対応)

地域フォーラムの開催は、原則、会場開催を予定することとし、感染症予防等の徹底をお願いいたします。

但し、政府により「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出された場合、あるいは開催地の自治体の要請により会場での開催が困難な場合は、オンライン開催への変更も認めることといたします。こうした場合は、事前に当協会までご相談ください。

5. 交付額及び実施件数

○1か所あたり、120万円程度（税込み）

※補助対象となる費目については、別表の対象経費を参照してください。

※謝金及び旅費、会場借料は別途精算払いとなります。

○6か所

6. 協力機関の選定等について

本事業を希望される機関は、「**実施要望書(様式1)**」及び「**経費明細書(様式2)**」を令和5年5月15日(月)～令和5年6月15日(木)の間に、電子メールにて当協会あてに(monitor@techno-aids.or.jp)提出してください。

応募されたものから、順次、当協会から厚生労働省に再委託の協議を行い、協力機関を決定して参ります。

なお、協力機関の選定にあたっては、全国的な地域のバランスを踏まえるとともに、要望書の内容を加味して決定いたします。

募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。選定状況は、当協会までお尋ねください。

7. 実施期間

内定後～令和6年2月末

8. 実施結果報告の提出

本事業を実施した機関は、事業終了後速やかに「**実施結果報告書(様式4)**」及び「**支出経費明細書(様式5)**」、アンケート調査の結果を電子メールにて、当協会あてに提出してください。(送信先:monitor@techno-aids.or.jp)

9. 関係書類

- 様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」
- 様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」
- 様式3「介護ロボット地域フォーラム 請求書」
- 様式4「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」
- 様式5「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」

10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 (伊東・松本・五島 (ごしま))

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL 03(3266)6883

電子メール monitor@techno-aids.or.jp

11. 様式

様式 1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

令和 年 月 日

介護ロボット地域フォーラム 実施要望書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施する都府県

3. 実施体制

4. 実施内容（実施予定日・実施会場・展示予定機器 等）

5. 実施スケジュール

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

様式2「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」

介護ロボット地域フォーラム 経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
	一般管理費		
	合計		

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		
	合計		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

請 求 書

金 _____ 円

令和5年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット地域フォーラム」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金 融 機 関 名	銀行	支店
預 貯 金 種 別		
口 座 番 号		
(フリガナ) 口 座 名		

2. 協力機関及び開催地

協力機関名	
担当者名	
開催地（都府県）	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施した都府県

3. 実施体制

4. 実施方法

5. 実施結果

○実施日時、場所

○来場者数

○体験展示の内容（展示機器名・台数等）

○試用貸出の取次ぎ件数

○シンポジウムの内容（講演者・講演概要等）

○その他、地域フォーラムにおいて実施した、介護ロボットの開発・導入・普及・活用等に資する取組

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレット、当日の写真など入れてください。)

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出額	積算内訳
直接 経費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出額	積算内訳
直接 経費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		
合計			

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

対象経費

(申請できる経費)

本事業の実施に必要な賃金、謝金、旅費交通費、消耗品費、雑役務費、借料及び損料、会議費、通信運搬費、印刷製本費、光熱水費の直接経費等並びに一般管理費

各項目の具体的な支出例は、以下のとおりです。経費の算出に当たっては、所属機関の規定等に基づくこと。

なお、謝金及び旅費交通費、借料及び損料につきましては、精算払いとなります。

	項目	具体的な支出例
直接 経 費	賃金・人件費	・ 事業実施に必要な作業等を行う者の人件費 ・ 事業実施に必要な臨時に雇用する者の費用
	謝金	・ 事業の協力機関に属さないシンポジウムの講師等に対する謝礼 下記の参考単価基準額を参照
	旅費交通費	・ 事業実施に必要な旅費交通費（シンポジウムの講師等）
	消耗品費	・ 各種事務用紙、文具の類、収入印紙、雑誌等、その性質が使用することによって消耗され又は毀損しやすいもの、長期間の保存に適さない物品の購入費
	雑役務費	・ 振込手数料、両替手数料 ・ 会議録等の作成費 ・ 介護ロボットの貸与費及び、設置セットアップ費用 ・ アンケート結果の入力費 等
	借料及び損料	・ 会場借上料
	会議費	・ 会議時の費用等
	通信運搬費	・ 郵便料、運搬料、電話料等
	印刷製本費	・ パンフレットや報告書等の印刷費
	保険料	・ 試用等に係る保険料等
	光熱水費	・ 電気使用料、ガス使用料、水道使用料等及びこれらの使用に伴う計器類の使用料等 ・ 自動車等の燃料費
	委託費	・ 業務の一部を外部機関に委託するための費用
	一般管理費	直接経費の15%以内とします

参考単価基準額

(賃金)

一日（8時間）当たり 8,300 円を基準とし、雇用者が負担する保険料は別に支出する。

注) 一日において8時間に満たない時間又は8時間を超えた時間で賃金を支出する場合には、1時間当たり 1,030 円で計算するものとする。

(謝金)

定型的な用務を 依頼する場合	医師又は相当者	日給 14,100 円
	大学（短大含む）卒業者又は専門技術を有する者及び担当者	日給 7,800 円
	その他	日給 6,600 円

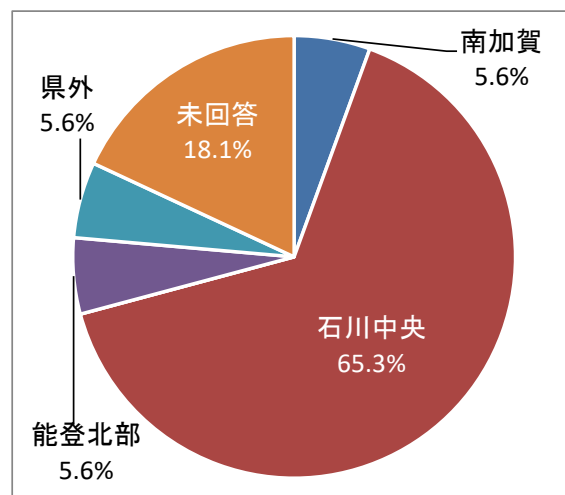
2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果

①石川県

<来場者アンケート 集計結果>

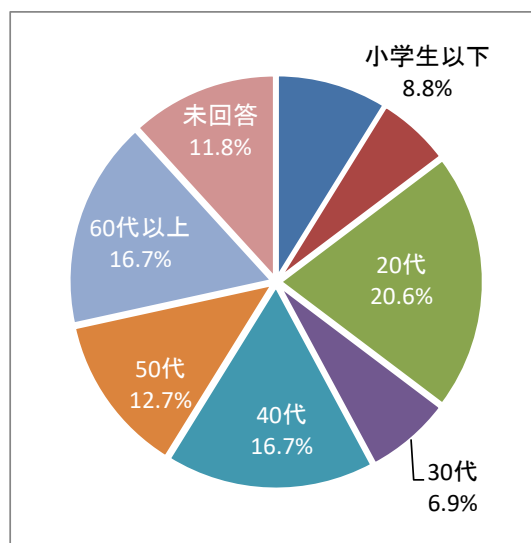
■来場地域

南加賀	4人	5.6%
石川中央	47人	65.3%
能登中部	人	0.0%
能登北部	4人	5.6%
県外	4人	5.6%
未回答	13人	18.1%



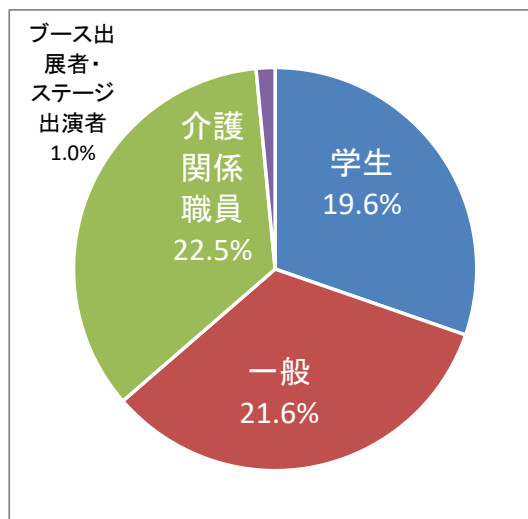
■来場者年齢

小学生以下	9人	8.8%
中学生以上	6人	5.9%
20代	21人	20.6%
30代	7人	6.9%
40代	17人	16.7%
50代	13人	12.7%
60代以上	17人	16.7%
未回答	12人	11.8%



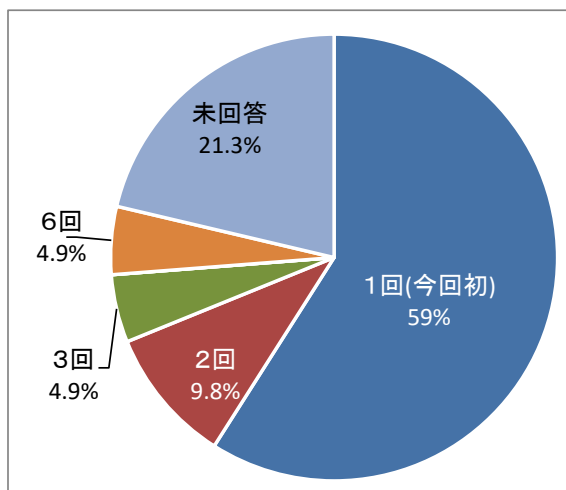
■来場者の職業

学生	20人	19.6%
一般	22人	21.6%
介護関係職員	23人	22.5%
ブース出展者・ステージ出演者	1人	1.0%
その他	人	0.0%



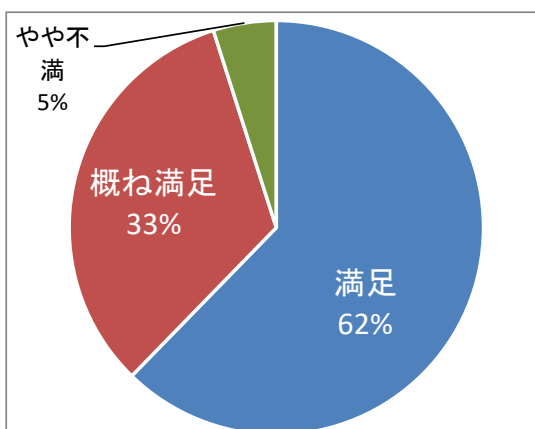
■フェスタへの来場回数

1回(今回初)	36人	59.0%
2回	6人	9.8%
3回	3人	4.9%
4回	人	0.0%
5回	人	0.0%
6回	3人	4.9%
未回答	13人	21.3%



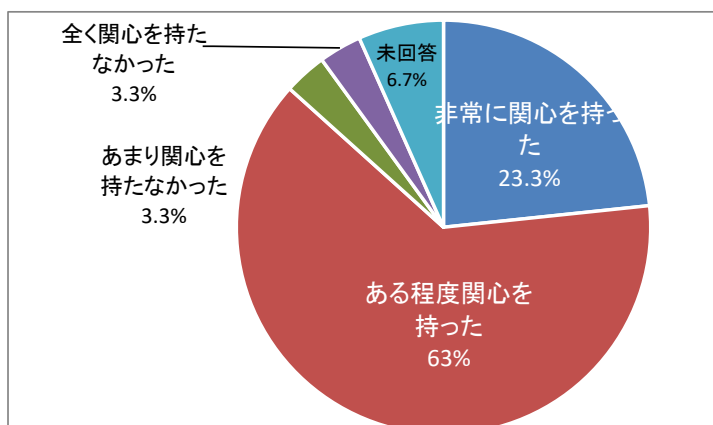
■フェスタ全般についての満足度

満足	38人	62.3%
概ね満足	20人	32.8%
やや不満	3人	4.9%
不満	人	0.0%



■介護の仕事に対して、どの程度関心を持ったか

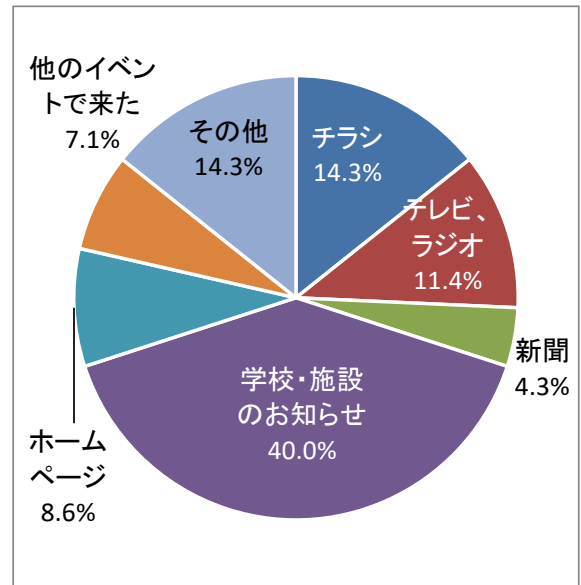
非常に関心を持った	7人	23.3%
ある程度関心を持った	19人	63.3%
あまり関心を持たなかった	1人	3.3%
全く関心を持たなかった	1人	3.3%
未回答	2人	6.7%



■フェスタの開催を知ったきっかけ(複数回答可)

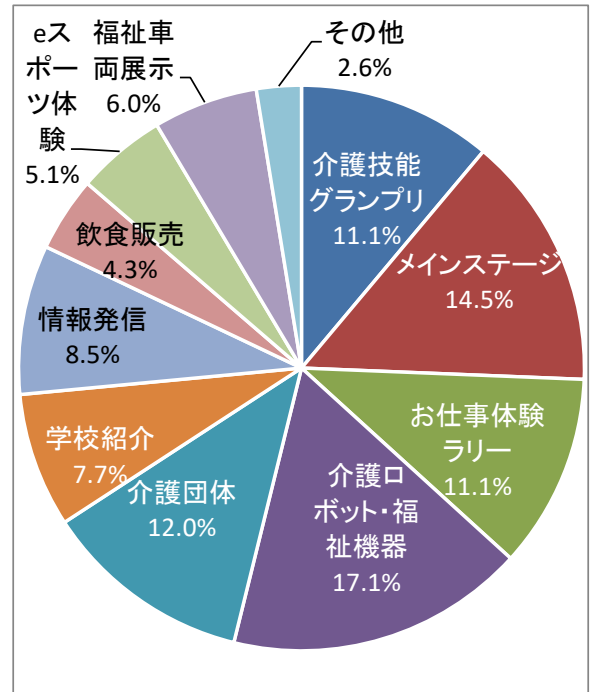
チラシ	10人	14.3%
テレビ、ラジオ	8人	11.4%
新聞	3人	4.3%
学校・施設のお知らせ	28人	40.0%
ホームページ	6人	8.6%
他のイベントで来た	5人	7.1%
その他	10人	14.3%

※ その他・・・家族の紹介 等



■どのコーナーが楽しかったか(複数回答可)

介護技能グランプリ	13人	11.1%
メインステージ	17人	14.5%
お仕事体験ラリー	13人	11.1%
介護ロボット・福祉機器	20人	17.1%
介護団体	14人	12.0%
学校紹介	9人	7.7%
情報発信	10人	8.5%
飲食販売	5人	4.3%
eスポーツ体験	6人	5.1%
福祉車両展示	7人	6.0%
その他	3人	2.6%



②静岡県

アンケート集約／108枚

アンケート集約／108枚		合計	計	占有率
1、開催情報 ★複数回答あり	ホームページ	117	11	9.4%
	LINE		11	9.4%
	チラシ・DM		21	17.9%
	友人・知人の紹介		12	10.3%
	県と同報メール		22	18.8%
	その他		36	30.8%
	不明		4	3.4%
2、属性 【地域】	県東部	108	28	25.9%
	県中部		53	49.1%
	県西部		26	24.1%
	県外		1	0.9%
	不明		0	0.0%
2、属性 【勤務先】 ★複数回答あり	介護	111	95	85.6%
	医療		6	5.4%
	自治体		0	0.0%
	メーカー		0	0.0%
	代理店		1	0.9%
	その他		5	4.5%
	不明		4	3.6%
2、属性 【職種】 ★複数回答あり	医師	111	0	0.0%
	看護師		4	3.6%
	准看護師		1	0.9%
	理学療法士		4	3.6%
	作業療法士		5	4.5%
	言語聴覚士		0	0.0%
	介護支援専門員		14	12.6%
	介護福祉士		42	37.8%
	福祉用具専門相談員		3	2.7%
	その他介護職員		10	9.0%
	その他		23	20.7%
	不明		5	4.5%
3、シンポジウム	参考になった	108	65	60.2%
	参考にならなかった		0	0.0%
	どちらともいえない		4	3.7%
	シンポに不参加		30	27.8%
	不明		9	8.3%

アンケート集約／108枚

アンケート集約／108枚		合計	計	占有率
4、展示	参考になった	108	102	94.4%
	参考にならなかった		0	0.0%
	どちらともいえない		5	4.6%
	不明		1	0.9%
5、試用貸出	知って利用	108	31	28.7%
	知って利用無し		38	35.2%
	知らない		36	33.3%
	不明		3	2.8%
6、相談窓口・リビングラボ	知って利用	108	7	6.5%
	知って利用無し		20	18.5%
	知らない		81	75.0%
	不明		0	0.0%
7、利用希望	利用したい	108	32	29.6%
	利用したくない		1	0.9%
	分からない		73	67.6%
	不明		2	1.9%
8、規模感	多い	108	6	5.6%
	今回くらい		67	62.0%
	少ない		35	32.4%
	不明		0	0.0%

アンケート集約／108枚

アンケート集約／108枚		合計	計	占有率
9、興味 【有無】	ある	103	87	84.5%
	なし		0	0.0%
	不明		16	15.5%
9、興味 【機器】 ★複数回答あり	サスケ	336	31	28.7%
	H u g L 1		24	22.2%
	スカイリフト		13	12.0%
	J-PASフレアリー		19	17.6%
	流せるポータくん		11	10.2%
	排尿予測デバイスDfree		22	20.4%
	PALRO		14	13.0%
	ピュアット		15	13.9%
	眠りSCAN		26	24.1%
	Yuiシステム		19	17.6%
	シルエット見守りセンサー		10	9.3%
	パルモスマートコール		23	21.3%
	シッタープロ		2	1.9%
	aams.介護		6	5.6%
	見守りシステムNeos+Care		8	7.4%
	すいすいケア		7	6.5%
	見守りライフ		4	3.7%
	みまもりベッドセンサー		11	10.2%
	ファーストケア		3	2.8%
	ブルーオーシャンノート		10	9.3%
	ほのぼのシリーズ		11	10.2%
	HitomeQケアサポート		4	3.7%
	ケアカルテ		19	17.6%
マルチポジションベッド	13	12.0%		
その他	0	0.0%		
不明	9	10.2%		
10、ロボット 利用	思う	108	36	75.9%
	思わない		1	0.9%
	どちらともいえない		10	13.9%
	不明		6	9.3%
11、自由意見				
12、ロボット 導入	導入している	95	46	48.4%
	導入していない		38	40.0%
	不明		11	11.6%

アンケート集約／108枚

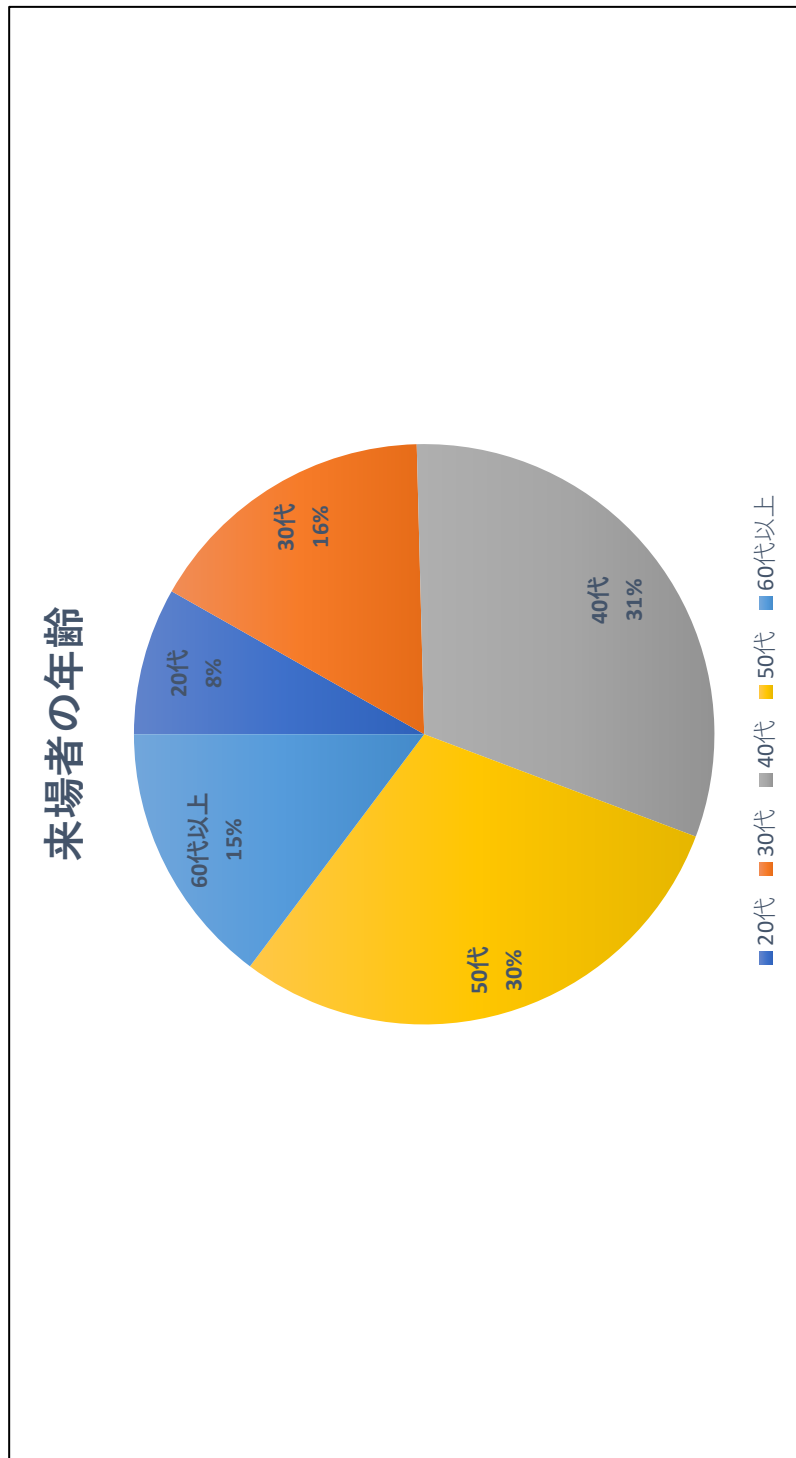
アンケート集約／108枚		合計	計	占有率
13、導入ロボット タイプ	移乗－装着	87	6	13.0%
	移乗－非装着		14	30.4%
	移動－屋外		0	0.0%
	移動－屋内		3	6.5%
	移動－その他		0	0.0%
	排泄支援－処理		0	0.0%
	排泄支援－誘導		1	2.2%
	排泄支援－動作		0	0.0%
	見守り－施設		26	56.5%
	見守り－在宅		0	0.0%
	コミュニケーション		5	10.9%
	入浴支援		9	19.6%
	介護業務支援		12	26.1%
	その他		0	0.0%
不明	11	23.9%		
14、導入課題	ある	90	66	73.3%
	ない		1	1.1%
	どちらともいえない		9	10.0%
	不明		14	15.6%

令和5年度 介護ロボット地域フォーラム島根 アンケート集計表

入場者数	94	アンケート数	61	回収率	65%
------	----	--------	----	-----	-----

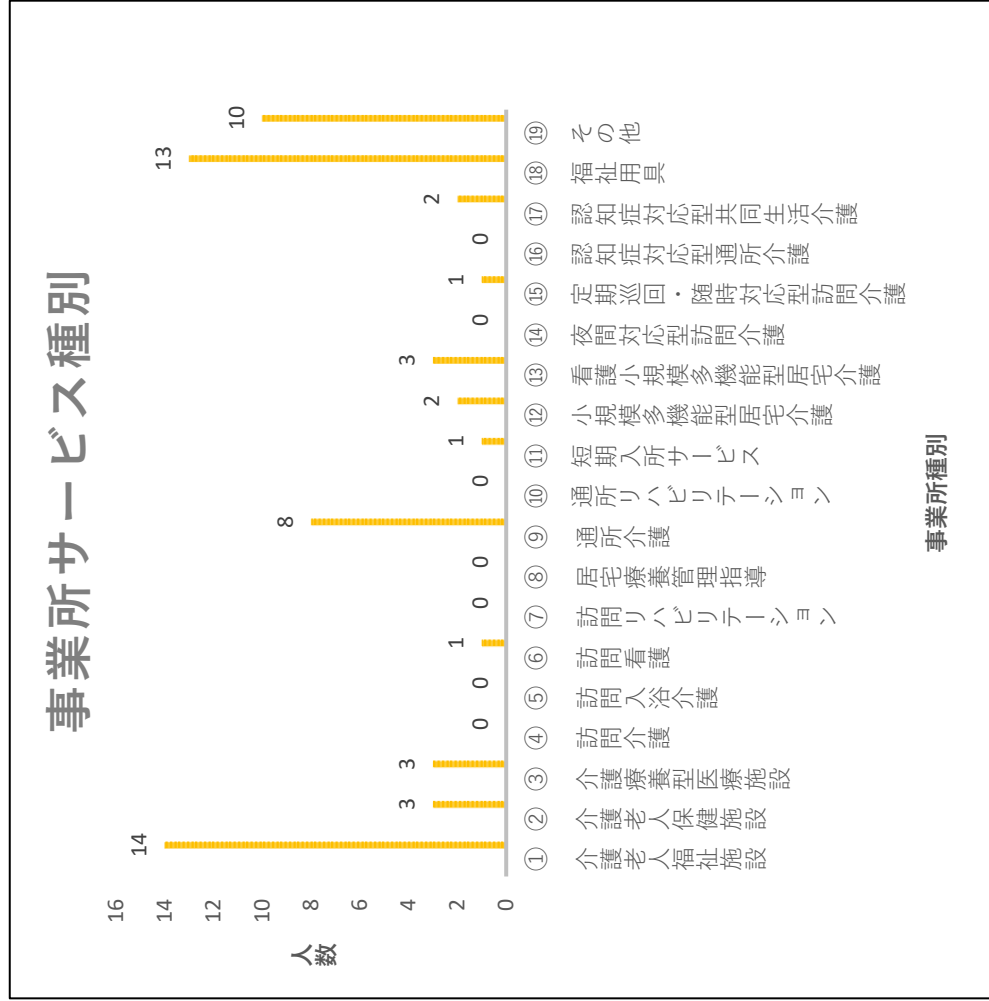
1. 年齢について

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
人数	0	5	10	19	18	9



2. お勤めの事業所のサービス種別を教えてください。

事業所種別	人数
① 介護老人福祉施設	14
② 介護老人保健施設	3
③ 介護療養型医療施設	3
④ 訪問介護	0
⑤ 訪問入浴介護	0
⑥ 訪問看護	1
⑦ 訪問リハビリテーション	0
⑧ 居宅療養管理指導	0
⑨ 通所介護	8
⑩ 通所リハビリテーション	0
⑪ 短期入所サービス	1
⑫ 小規模多機能型居宅介護	2
⑬ 看護小規模多機能型居宅介護	3
⑭ 夜間対応型訪問介護	0
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護	1
⑯ 認知症対応型通所介護	0
⑰ 認知症対応型共同生活介護	2
⑱ 福祉用具	13
⑲ その他	10



3. 今回のシンポジウム参加の方でご意見があればお聞かせください。

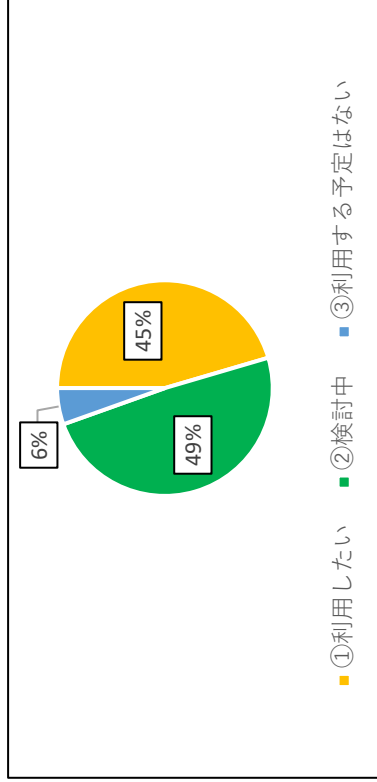
- ・講演中に後方で商品説明しており聞き取りにくい時があった。
- ・メーカーが少し少なすぎて残念だったように思います。
- ・講演の際同じスペースでメーカー説明が耳に入ってきて集中しにくいという聞きにくい。
- ・もっとたくさんさんの参加があったらよいと思いました。
- ・もっとたくさんさんの介護ロボットを体験できたらと思います。
- ・ブースが少なかつたと思います。そのため、しっかりとした内容の話だったけど、いまいち現実味がありませんでした。
- ・移乗アシストロボットで、入浴使用（防水用）と、ベッド移乗用の兼用のものがあつたらよかった。
- ・参加企業数が少ないように感じた、もっと多くの中から比較ができればと思います。
- ・「負担軽減」というイメージであつたが、時間の短縮で、その分ほかの業務ができるので良い。
- ・思っていたより操作が簡単な機器が多かつた。
- ・ロボット導入施設での効果実例発表当の機会、施設での改善事例、成功事例をメニューに入れていただくとさらにわかりやすいフォーラムになると思います。
- ・いろいろな補助金の制度があるけど、今どのような介護ロボットがあるかわからず今回お邪魔しました。
- ・参加企業がもう少し多くてもよいと思う。
- ・島根県の補助金額が、他県より少なく感じる。良いものはたくさんあるが、費用が高く施設だけの負担ではなかなか購入できない。
- ・最新の機器を見学し、大変参考になりました。補助金制度もあり検討しやすいと思いました。
- ・初めて参加しました。介護負担軽減、人権定着、入所者の安全を守るように導入を検討していきたいと思つました。導入にあたり前後のアンケート利用計画を明確にしていけば、導入に対して理解が得られると思つました。
- ・米子でも実施していただけると嬉しいです。
- ・シンポジウムの内容はおおむね把握していたが、聞けて参考になった。
- ・多くの事業所からの参加があり、介護ロボットに関心が大きいと感じました。

4. 体験展示、試用貸出についてご意見があればお聞かせください。

- ・施設でのレンタルまたは使用前には使用を長く使用することができれば全職員に伝わると思います。
- ・見守りセンサー、職員の負担を減らすことができれば、少人数で対応できるのではと考えてみたいです。
- ・もう少しいろいろな物があると良いかなって思いました。
- ・wifiが主流の見守りシステムが多かったが、古くからの建物だと、wifiが通らない所も多いため、そのあたりも考慮かと思った。
- ・一般的なフォーラム同様だと思います。
- ・ソフトの体験ができて、伝えるときの参考になって良かったです。
- ・在宅で独居の方で認知症の方の安否確認に活用したい。
- ・体験できるということで、事業所に帰って話してみたいと思います。各機器とも興味深いもので使いたいたいものもたくさんありました。
- ・事業所の方が直接体験できるようにされており、実感されている様子が伺えました。本日を契機に県内での導入が促進されることを期待します。
- ・移乗サポートロボットは利用してみたいと思った。
- ・見守り系の製品が多かったですが、移動、移乗の用具ももっと展示してほしい。

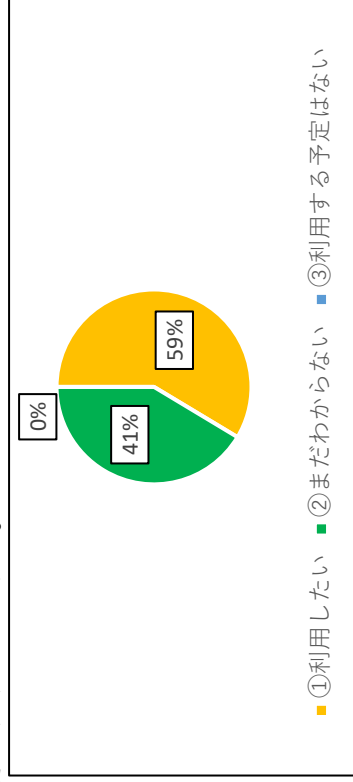
5. 今後、介護ロボットを利用していきたいですか。

①利用したい	②検討中	③利用する予定はない
25	27	3



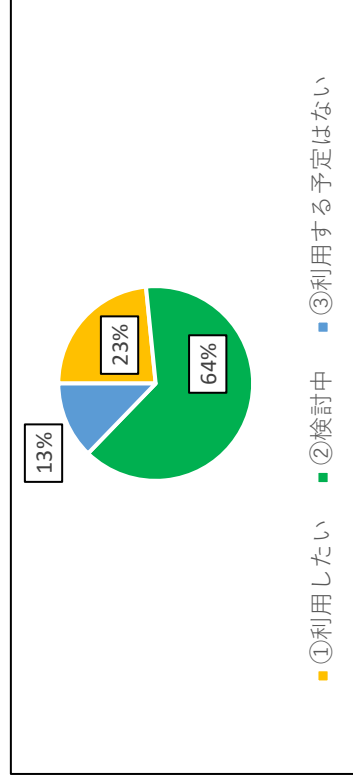
6. 今後、自分が被介護者となった場合に介護ロボットを使用した介護をうけたいですか。

①利用したい	②まだわからない	③利用する予定はない
34	24	0



7. 今後、相談窓口やリビングラボを利用していきたいですか。

①利用したい	②検討中	③利用する予定はない
11	30	6



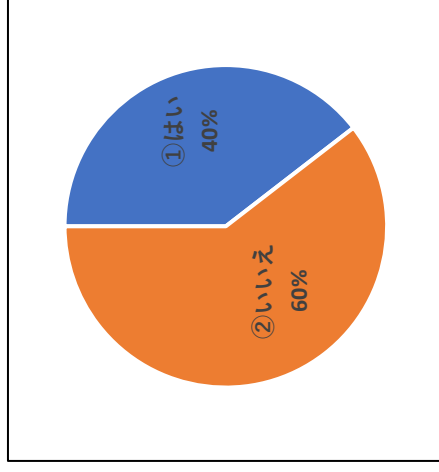
8. 相談窓口、リビングラボについてご意見があればお聞かせください。

ご意見はありませんでした。

【介護施設で働いている方へのご質問】

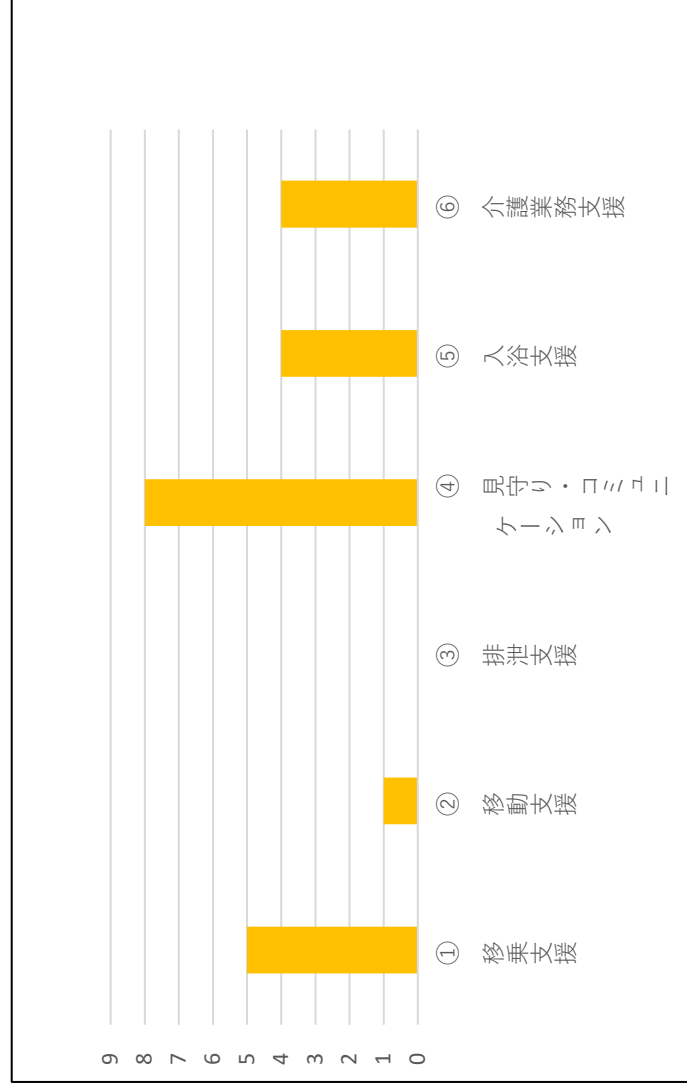
1. あなたの施設では介護ロボットの導入はされていますか。

①はい	17
②いいえ	26



2. はいと答えられた方、どのような機器を導入されていますか。

機器種類	数
① 移乗支援	5
② 移動支援	1
③ 排泄支援	0
④ 見守り・コミュニケーション	8
⑤ 入浴支援	4
⑥ 介護業務支援	4



3. 介護ロボットの導入・活用に当たった課題があれば教えてください。

- ・より良い導入、活用には時間もお金も必要。いかに良いものを簡単に導入できて、利用者、介護者のメリットにつなげてほしい。（介護現場の悪循環をリセットできるかなり大きな支援が必要かなあ）」
- ・導入費用が補助金はあるとはいえ、高いという声をよく聞く。また、職員間でも導入に温度差があるところも多い。
- ・介護ロボットは高額なものが多く、導入したくても事業所の負担が大きいと聞いています。補助金がより使いやすい制度になることを希望しています。（更新にも補助が交付されるとよい）（金額アップ、活用回数の増、対象機器の拡大等）ICT化に対する、伴走支援（使い方指導、経常経費に対する助成など）
- ・機械操作がしやすいければ年配の職員でも使えるのではないでしょうか。導入しやすい金額（補助金を利用できるもの）であればうれしい。
- ・導入後の活用がうまくできていない。
- ・補助金の説明文章がわかりにくい。
- ・定期的な講習会・勉強会などで、サポートがあるといいと思う。
- ・導入事業者によるDX人材の確保、育成。
- ・金額と希望に沿ったものがなかなかみつからない。
- ・施設でのwifi環境の充実、レンタルのスムーズさ。
- ・使いやすいさを求めますが、現在でも使いやすいようになってきているように感じはします。バイタルなどの計測が、埋め込み式などの未来になるとよい。
- ・導入費用をどうしていくか、また操作や活用についてどう習熟していくか。
- ・助成金が増えたと増えて手軽に買えるようになってきたら良いと思います。

令和5年度 高知県介護ロボットフォーラム(厚労省事業)

アンケート結果報告書

令和5年12月

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会

調査概要

【調査対象】 令和5年度高知県介護ロボットフォーラム受講者(35名)

※事前申込者数46名

※展示会のみ見学者を対象外

【回答数】

33件

【調査日】

令和5年12月8日(金)

【調査方法】

フォーラム受講者へ紙面にて配布

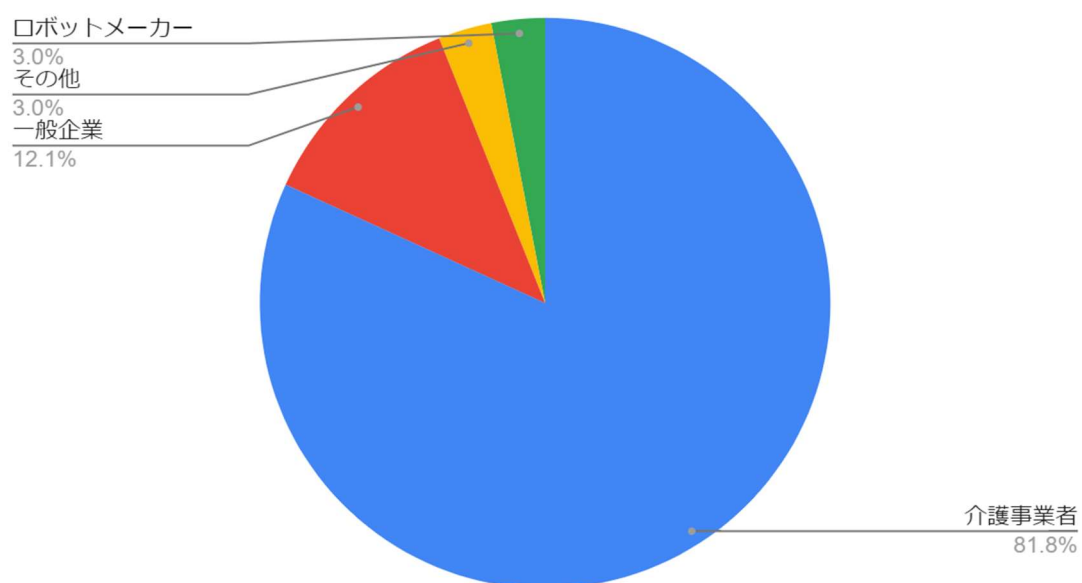
【調査内容】

受講者の属性及び、フォーラム、展示会、プラットフォーム等への意見収集

(1)あなたのお勤め先を教えてください。

勤め先	人数	割合
介護事業者	27	81.8%
ロボットメーカー	1	3.0%
ICT ソフトメーカー	1	3.0%
一般企業	4	12.1%
合計	33	100%

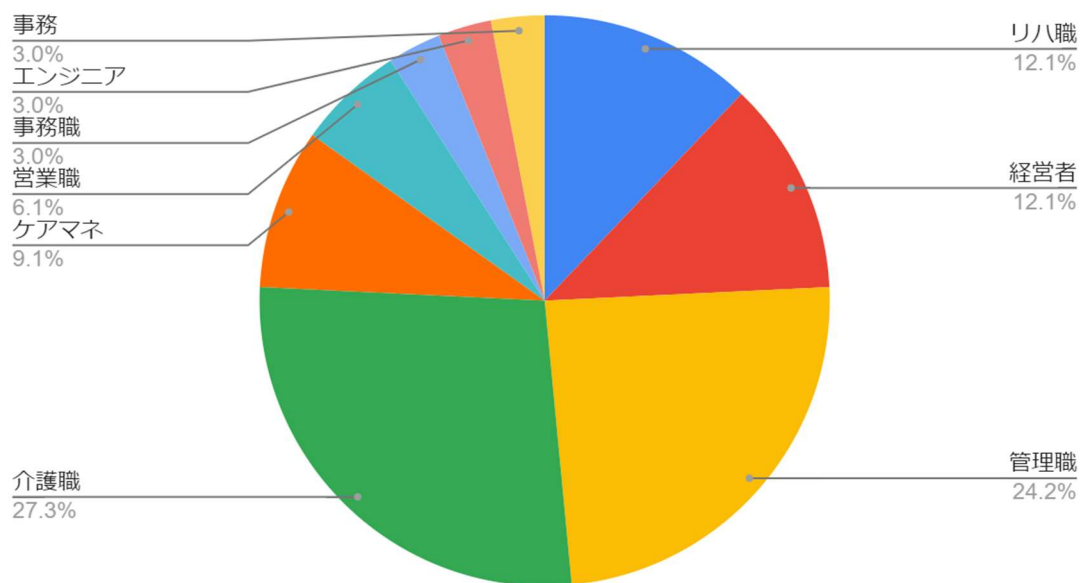
「あなたのお勤め先を教えてください。」のカウント数



(2)あなたの職種を教えてください。

職種	人数	割合
介護職	9	27.3%
管理職	8	24.2%
リハ職	4	12.1%
経営者	4	12.1%
ケアマネ	3	9.1%
営業職	2	6.1%
エンジニア	1	3.0%
事務	1	3.0%
その他	1	3.0%
合計	33	100.0%

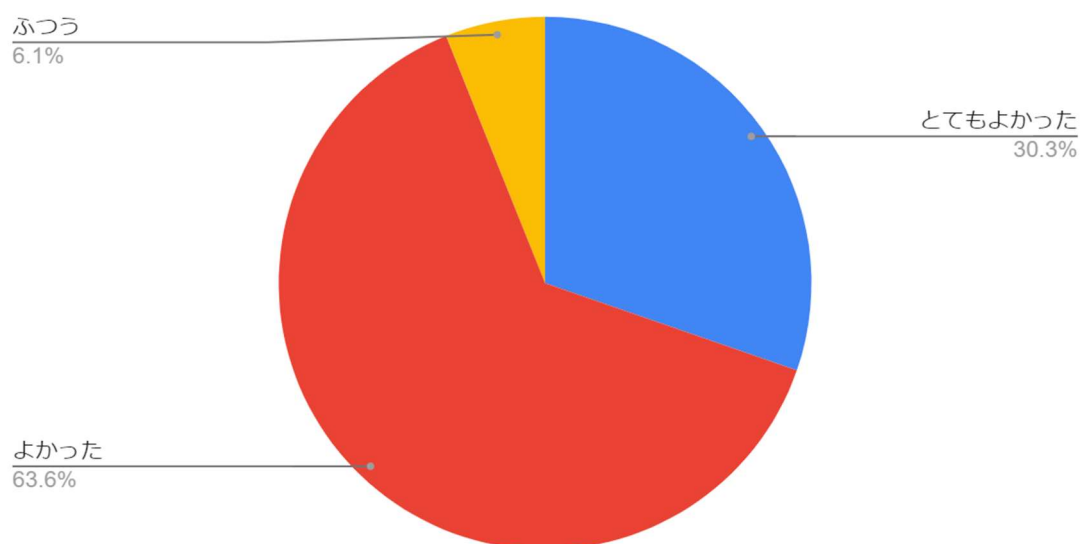
「あなたの職種を教えてください。」のカウント数



(3)セミナーは有意義なものとなったでしょうか？

選択	人数	割合
とてもよかった	10	30.3%
よかった	21	63.6%
ふつう	2	6.1%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
合計	33	100.0%

「セミナーは有意義なものとなったでしょうか？」
[有意義でしたか] のカウント数



(4)本日のセミナー・展示会についてのご感想やご意見などございましたら、ご記入ください。

高知県の現状を知れて(補助金も知れて)、今後取り組むべき課題も明確出来て良かった。
介護分野の生産向上を初めて聞き学べ、勉強になった。経営と現場との対話が重要で意思統一することで心理的安全な組織づくりにつながるため、今後意識して取り組んでいく必要性を感じた。
ネットで見ただけでなく現物を見たり営業さんから直接聞いたりする事が出来たのでよく理解が深まりました。
介護ロボットとICTの活用方法について、事例を変えての講義だったのでわかりやすかった。
介護ロボットはこれからと思っていたのですが、具体的なものとして考えられるようになりました。
介護ロボット導入についての問題点、今後導入していくにあたって何が必要か良く勉強になった。
興味深い話を聞いて良かった。
いろんな話を聞いて良かった。
アシストスーツに興味があり、展示会は良かった。
セミナー時間は集中して聞け、ポイントもわかり易くて良かった。
国の動向がわかり良かった。高知県にも身近に相談窓口ができそう。情報が得られてよかった。
大変勉強になりました。セミナーを参考にICTの検討をします。
NTTデータのセミナーは自分の職場に置き換えてもわかりやすかった。
NTTDATEの話が自社にも大変刺さりました。介護ロボット導入による介護現場での職員さんのリアクションは自社社員にも当てはまるので違った意味で参考になった。
次回もこのような展示会があれば出展させてほしい。
プラットフォームの資料の字が小さいので少し大きくしてほしい。ケースステディの資料が見やすかった。
展示会は実物を見ながら体験が出来たので良かったです。
施設にこれから必要であろうと思うような介護ロボットがあり、とても興味があった。しっかり検討していきたい。
話がわかり易かった
もっと詳しいセミナーを受けたかった。

(5)介護ロボットプラットフォーム「相談窓口」「リビングラボ」についてのご意見などございましたらお知らせ下さい。

高知県でも相談窓口、リビングラボができればより現場へ普及されることにつながると感じた。
拠点が増えるとの事だったので期待したい。
開発メーカーがリビングラボをどの様に支援をお願いすればいいのかわかりたい。
これからますます活用されるし上手な使い方が重要と思われます。
ノーリフト宣言を全国に先駆けて取り組んでいる高知県に「相談窓口」「リビングラボ」がないのが残念。
導入ありきではなくなぜ導入したいか目的を明確にしなければ倉庫に眠るものとなるということですね。
検討する中で、相談したいことがあれば相談する。
高知県の各市町村に設置されることを望む。
高知市内で窓口があれば利用したい。

(6)介護者、被介護者の立場から介護ロボット使用についてご意見などございましたら、記入ください。

当社の従業員の負担軽減になるのであれば積極的導入を考えていきたい。当社は民間の住宅型有料老人ホームを経営しており、補助金が介護保険の適用事業所だけでなく民間の有料老人ホームにも適用されるようになればより活用しやすくなると感じる。
介護者不足の問題に対して、みなさんが関心を持つセミナーをどんどんやるべき。
まだ介護ロボットのネーミングに親しみが持ててない感があります。
介護ロボットは必要である。介護者の負担を少なくする為には、どういったものが必要か、現場で話し合っていく必要がある。
どの場面にもどのロボットが活用できるのかもっと知りたいと思う。 在宅介護が増えることを思うと、小規模多機能に導入できる持ち運びして活用できるようなものがあるといい。
床走行式リフトを使っているのですが、少しの段差で引っかかって動かすづらい時があるので、スムーズにタイヤが動くとうれしい。
人材不足の中、ロボット ICT 活用により人がしていた業務を減らす、効率化することは良いこと。 そして、そうしていかないと事業継続が難しくなると理解し、且つ働きやすい職場としての取り組みを行っています。今後も色々な機器を知り、検討していきたいと思います。
介護事業のみでなく、医療現場、例えば包括ケア病棟にしても補助金制度があれば良いと思う。仮に既にあるのであれば更に工法が必要だと思う。
負担の軽減に活用できるものを使用したい。

⑤佐賀県

佐賀県介護ロボット地域フォーラム2023アンケート集計

アンケート回答36人

1. 来場者情報

1) 性別

男	14
女	19

2) 年齢

10代	6
20代	11
30代	5
40代	7
50代	4
60代	1
70代	1

3) 地域

県内	15
県外	18

4) 勤務先

介護関係	18
その他	15

5) 職種

介護支援専門員	2
介護福祉士	8
福祉用具専門相談員	0
その他介護職員	1
その他	20

柔道整復師：1、学生：17、美容：1、管理者：1

2. シンポジウムの内容は参考になりましたか

参考になった	29
参考にならなかった	1
どちらともいえない	1

理由：・知らないことを知れた

- ・知らないことが多くためになった
- ・介護現場における先進機器の導入支援について知識が増えた
- ・内容が分かりやすく勉強になったから
- ・わからなかった
- ・今勤務している施設はロボットの導入はありません。あれば良いなー。
- ・知らなかった知識や人口の変化や介護ロボットを知れてよかった
- ・移乗支援機器に興味を持ちました
- ・介護ロボットの具体的な種類を知れて、様々な利点、問題点を知る事ができた

3. 介護ロボット・福祉機器の紹介、実演は参考になりましたか

参考になった	30
参考にならなかった	0
どちらともいえない	0

理由：・福祉機器について学ぶことができた

- ・使い方を知れたから
- ・実際の導入したいのでとても参考になりました
- ・ロボット、福祉機器などを使うことで、介助する負担（腰痛など）が少しでも少なることを知ったから
- ・わかりやすかった
- ・抱え上げるロボットいいですね、見守りセンサーも実際に介護ロボットに触れてよかった
- ・それぞれの機能について知る事ができてよかった

4. 介護ロボットの試用貸出を利用してみたいですか

利用してみたい	29
利用したくない	0
わからない	6

5. 介護ロボットの相談窓口を利用してみたいですか

利用してみたい	24
利用したくない	1
わからない	10

6. 介護ロボットのリビングラボを知っていますか

知っている	8
知らない	26
どちらともいえない	1

7. 介護ロボットを利用してみたいですか

利用してみたい	29
利用したくない	0
わからない	1

8. 興味があった機器を教えてください

ロボヘルパーSASUKE	14
電動昇降フルリクライニングキャリー	20
見守りケアシステム Neos+Care	23
認知症コミュニケーションロボットだいちゃん	13
移乗サポートロボット Hug	29
スカイリフト	22
こんにちは赤ちゃん	12
夢の子ネルル・ユメル	6
Qoobo	5
ロボットアシストウォーカーRT1、RT2	6
ラップポン	7
排泄予測デバイス Dfree	25
みまもり CUBE	17
メンタルコミットロボ パロ	6
なでなでねこちゃん DX2	11
なでなでワンちゃん秋田犬ポチ	13
スマイビス	9
マルチポジションベッド	7

9. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があれば自由にお書きください

- ・すばらしいフォーラムでした。もっと専門分野だけでなく身近に知る事ができればいいと思いました。今日はありがとうございました。
- ・介護ロボットの勉強になり、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
- ・体験ができてよかった

- ・介護の負担も軽減するため、介護福祉士の働きやすい環境作りや腰痛防止のため、介護ロボットの導入の良さについて学ぶことができてよかった。
- ・今日は素晴らしいイベントを開いて下さってどうもありがとうございました。実際に色々体験させて頂けて、とても良かったです。お世話になりました。
- ・介護ロボットについて知識が増えたのでとても良かった。
- ・高齢者のQOLの向上のため、必要な支援ができるロボットをたくさん開発できて、施設でもロボットを使用すれば利用者、介護互いに身体的精神的に負担の減少につながるのではと思います。
- ・福祉業界にサービスの質が向上するための色々なテクノロジーを見学することが出来て良かったです。
- ・知らないことをたくさん知れて良かったです

介護事業者の方のみ、以下の設問にご回答ください

10. 現在あなたの職場では介護ロボットを導入していますか

導入している	7
導入していない	13

11. 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか

移乗介助（装着型）	3
移乗介助（非装着型）	3
移動支援（屋外）	0
移動支援（屋内）	2
移動支援（その他）	1
排泄支援	0
排泄予測	0
排泄支援（動作）	0
見守り（介護施設）	4
見守り（在宅）	0
コミュニケーション	0
入浴支援	0
介護業務支援	0
その他	0

12. 介護ロボットの導入・活用にあたっての課題は何ですか

導入コストが高い	7
導入の効果に疑問	0
職員の理解不足	5
操作習得	2
サービス低下	1
保守など心配	1
事故が心配	2
その他	1

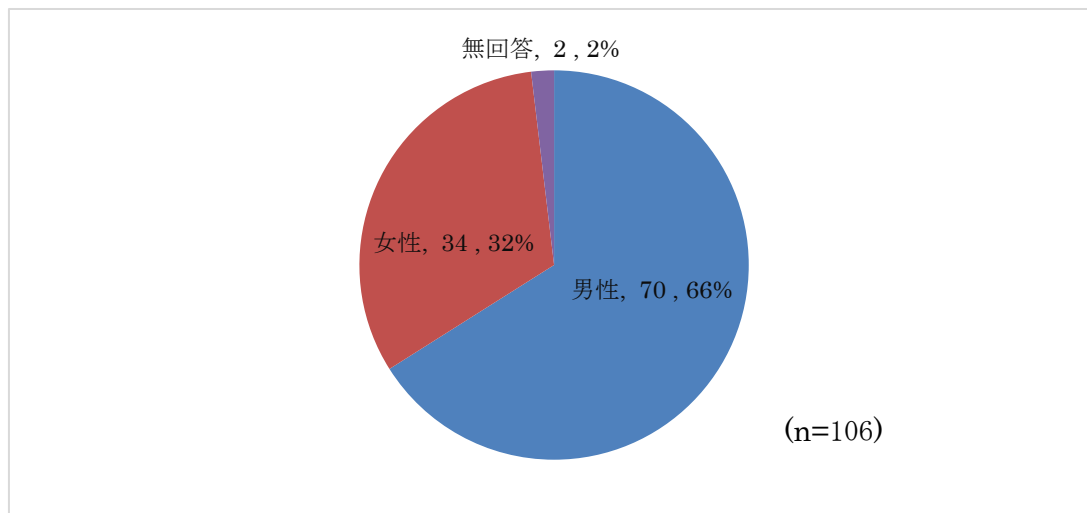
・介護ロボットを使って利用者に介護しているときは、職員が常に側に立って見守りする必要があると思います。わずかな時間で利用者が放置されたら、リスクの可能性が高いと思います。介護ロボットを使用しようとしたら、介助者の注意力とか精神状態も観察する必要があると思います。そして、ロボットを使用するごとに、その都度の直前にロボットの動作をチェックする必要があると思います。ですから、人介助よりロボット介助は注意と努力を注ぐ必要がある。

⑥長崎県

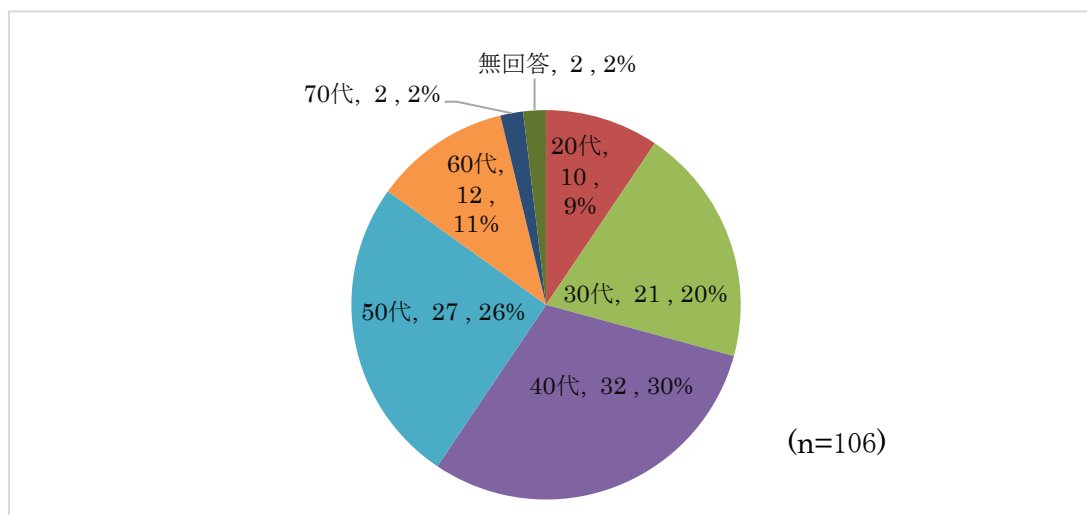
○ 長崎県アンケート集計結果

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種についてお答えください。

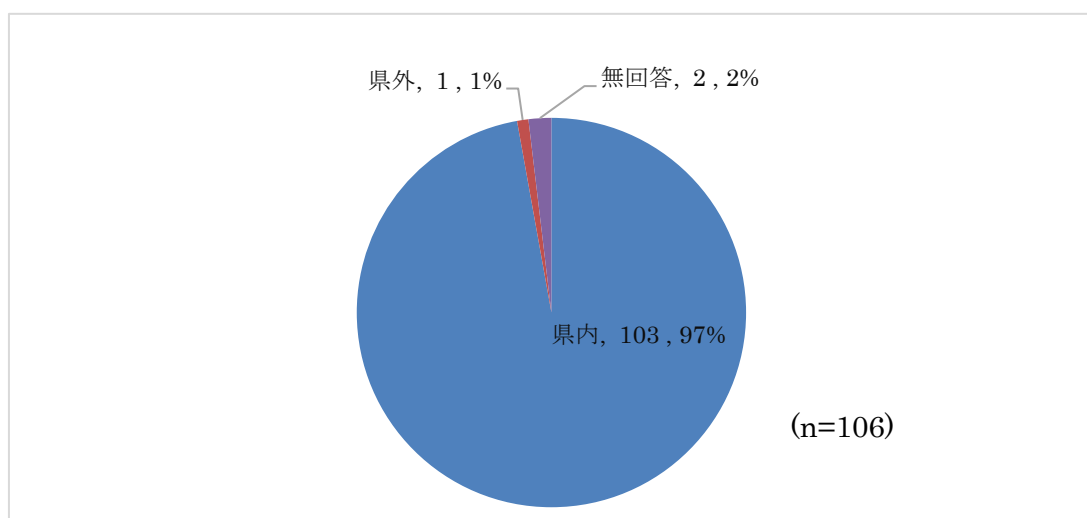
① 性別（単一回答、n=106）



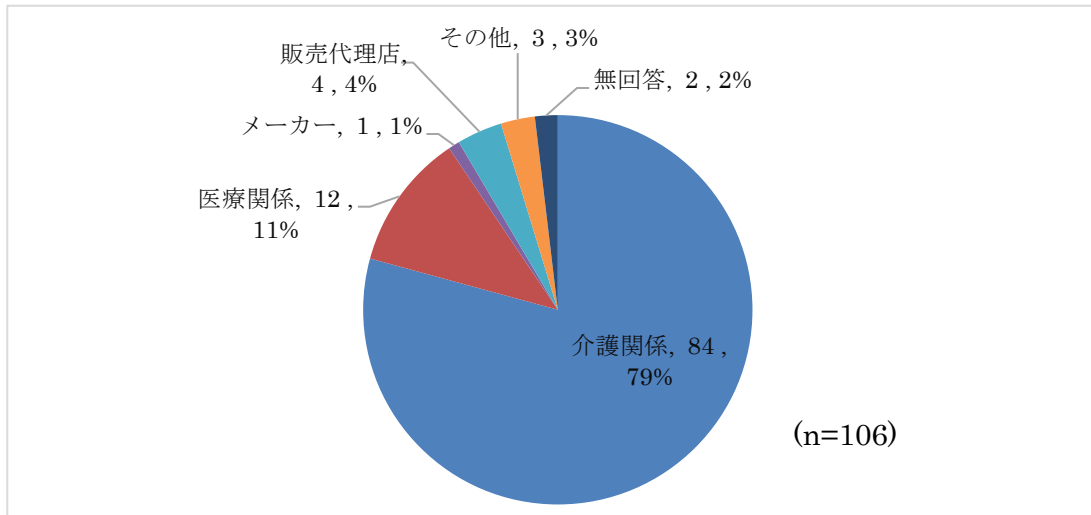
② 年齢（単一回答、n=106）



③ 地域（単一回答、n=106）



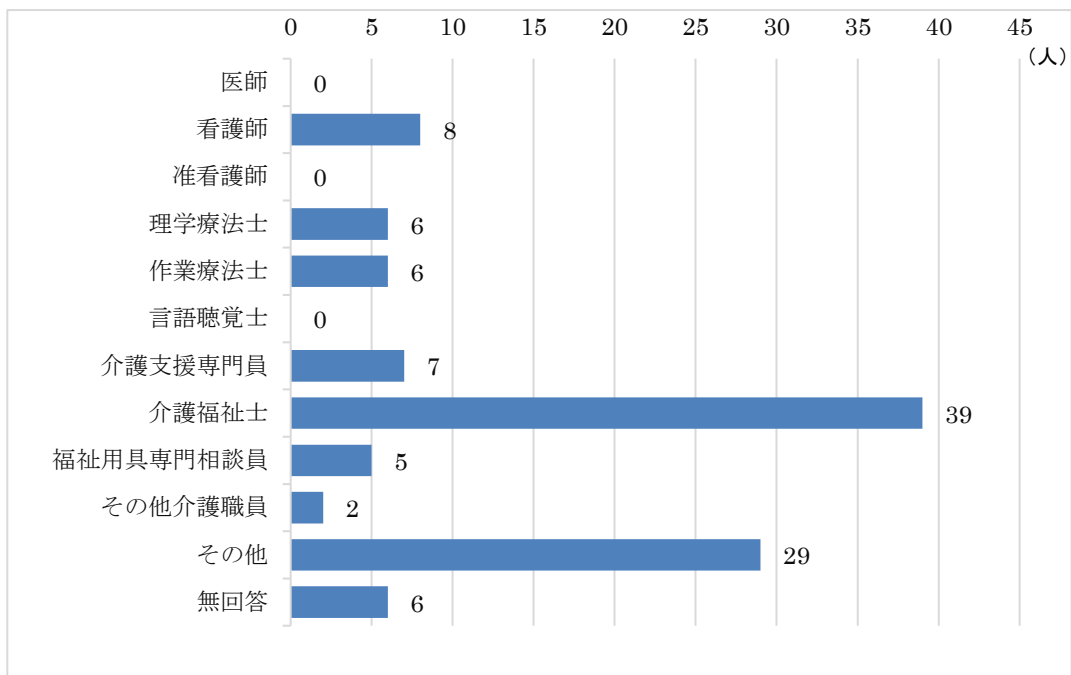
④ 勤務先（単一回答、n=106）



（その他の職業）

- ・ 福祉用具貸与事業所
- ・ 長崎大学
- ・ 団体

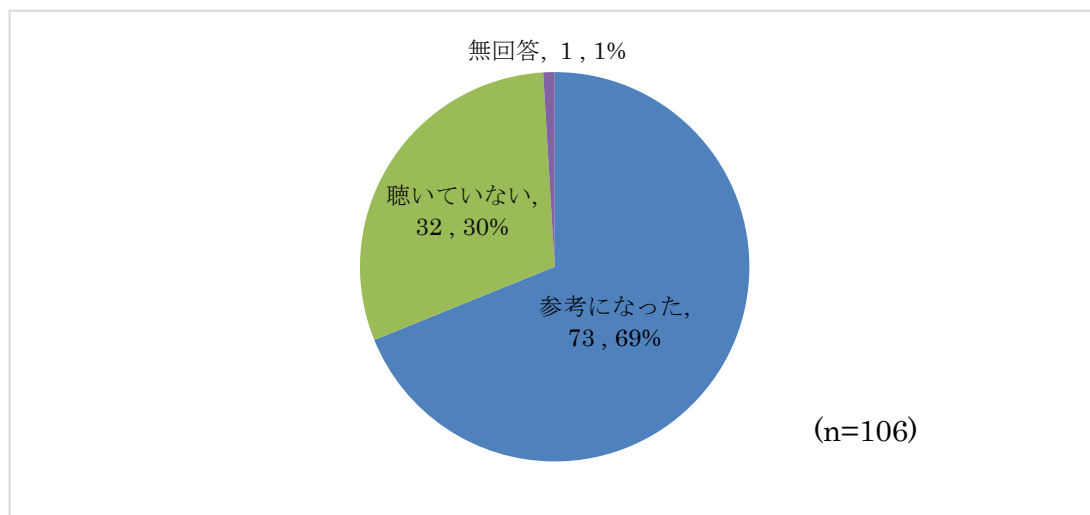
⑤ 職種（複数回答、n=106）



（その他の職種）

- ・ 介護福祉事務
- ・ 生活相談員
- ・ 施設長
- ・ 代表者
- ・ 事務
- ・ 学生

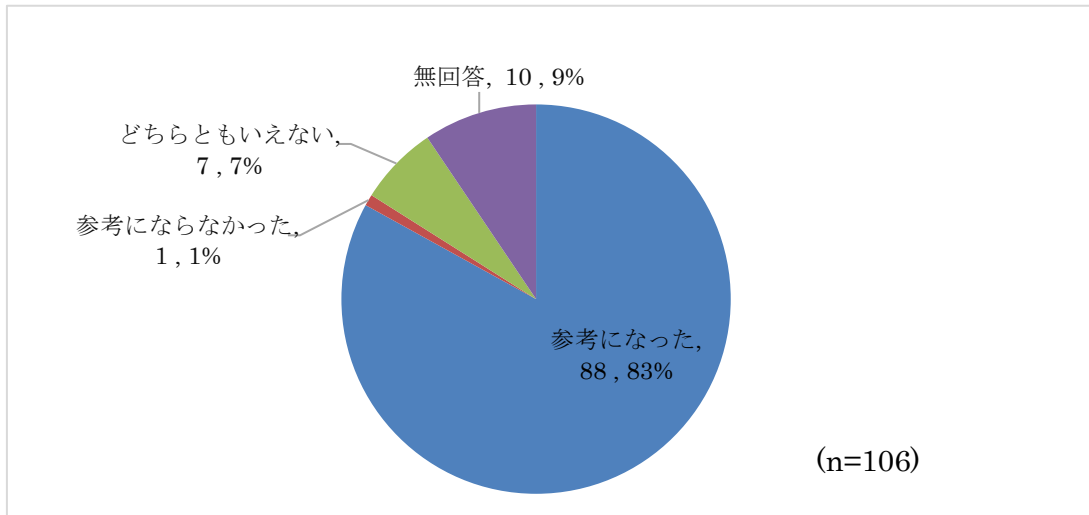
問2 シンポジウムの内容は、参考になりましたか。



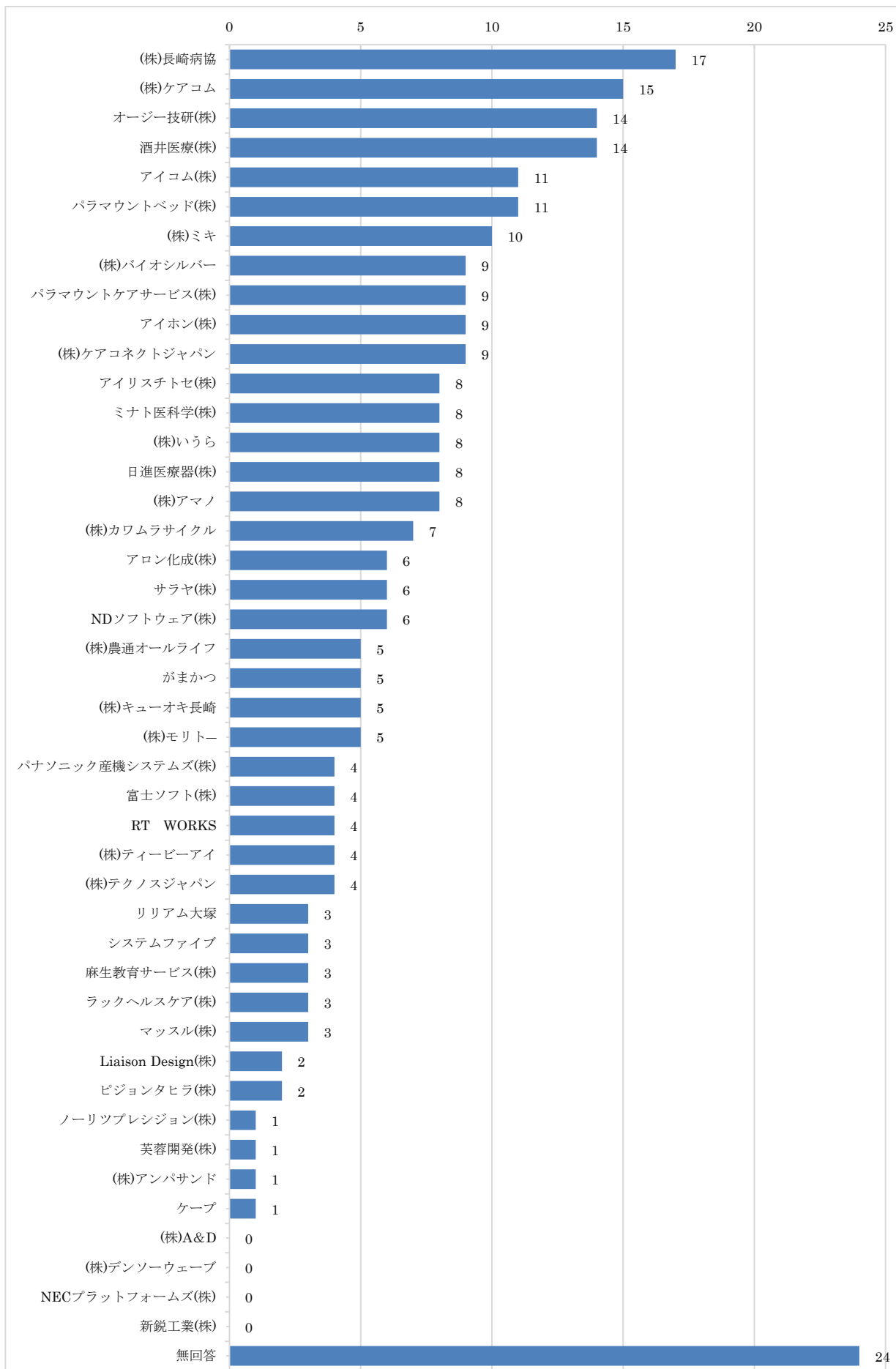
(理由・感想)

- ・ ロボットがすごかった。
- ・ 導入している施設のお話を聞いて良かったです。
- ・ 北島先生のお話はとても参考になりました。
- ・ 国の指針や事例が参考になった。
- ・ 実際に使用している事例が聞くことができよかった。
- ・ インカムを導入予定だが、現在使用中の機器と同期可能な為、導入がしやすい。
- ・ ふるさとの北島理事長の話（ICTの労務管理）が良かった。
- ・ 実際に導入されているお話を聴かせて頂き、とても勉強になりました。
- ・ 自施設の入浴に関する面で、利用者の安心・安全面、職員の負担軽減について参考になった。
- ・ 時間の関係上難しく、展示機器の見学などが中心となった。
- ・ 改めて必要性を感じた。
- ・ 取り入れられたら、仕事がスムーズに行えると思った。
- ・ 今後の動向など知ることができた。
- ・ 今後、介護労働が不足すること（既出の厚労省の推計以上に）、在宅中心になるという新しい知見が得られた。
- ・ 知らないシステム等があり、参考になった
- ・ 福祉用具も新しいもの変わっていていると思った。
- ・ ケアカルテを使った機器の利用範囲がわかった。
- ・ 知らないことを沢山知ることが出来た。

問3 介護ロボット・ICT 機器等の展示、紹介の内容は、参考になりましたか。



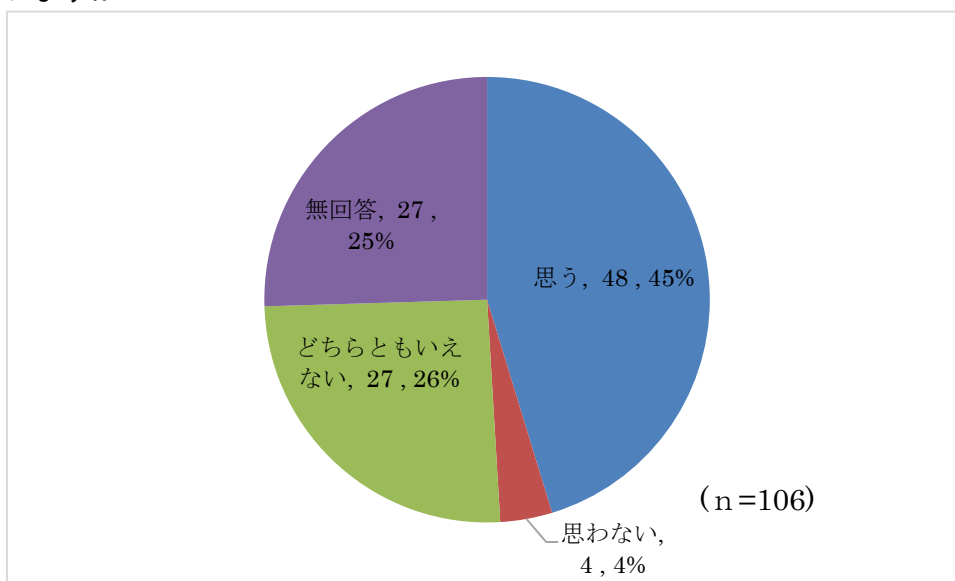
問4 展示機器の中で興味があるものはどのメーカーでしたか。(複数回答 n=106)



問5 本日のフォーラム及び介護ロボットに対するご感想、ご意見等があればご自由にご記入ください。

- ・ 事業所にも積極的に来てほしい（研修などで）
- ・ センサーマットの種類がない。
- ・ 年に1回は開催して欲しい。
- ・ 介護ロボットの導入は必要だと思いますが、いまの所、導入するに至ったことがない。
- ・ シンポジウムの投影画面サイズを4倍くらいにするべき。
- ・ 新しいものの状況が見られてありがたかったです。
- ・ 人手不足の中で、介護ロボットを活用する事で、利用者様の生活が豊かになればと思った。
- ・ 話を聞きたいブースに待っている人が多く、なかなか話が聞けなかった。
- ・ 使った事が無い様なものも多く、丁寧にご説明いただきとても参考になりました。
- ・ 見守りシステムを今後も楽しみにしています。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 色々な種類のロボットが見られてよかった。
- ・ もっと県内各地域で実施してほしい
- ・ 様々な機器を体感できて、関心をもてた。
- ・ 身近で展示会が開催され、とても参考になりました。
- ・ 普段見ることが出来ない機器類を触ることができた。
- ・ 現在、介護現場での高齢化により、介護ができていく様な状況である為、今後は必要性が高まると感じた。
- ・ 腰を痛めている介護スタッフが多い中、大変参考になりました。
- ・ 最新の介護ロボットが見られて新鮮だった。
- ・ また開催してほしいです。
- ・ 介護に携わる者として、希望がもてた。

問6 あなたが被介護者となった場合、介護ロボットを使用した介護を受けたいと思いますか？



(介護ロボットを使用した介護を受けたいと思う理由)

- ・ 負担が少なくなると思った。
- ・ 安楽そう。
- ・ 気を使われなくて良いから。
- ・ 介助する側の負担がわかるから。
- ・ 負担軽減ならと思った。
- ・ 介護者に負担させたくない。
- ・ 人に気を使わなくて済むから。
- ・ 安全に対応してもらいたい。
- ・ 介護スタッフに余裕をもってもらい、コミュニケーション等への時間を増やしてもらいたい。必要なのは人だと思うから。
- ・ 人とは違う形で関わりをもつことができたり、安心感を得ることができる。
- ・ ロボットは便利なもので、これからの時代不可欠にはなると思うが、自分が介護するうえで、やはり、身体を使っての介護が人間らしくて良いと思う。
- ・ 利用者からしても恐怖心が少ないと感じた。
- ・ 介護者の負担を考えると、腰を痛めながら介護してもらおうと申し訳なさを感じる。
- ・ なるべく同じ生活をしたいから。
- ・ 安心して介護を受けることが出来そう。

(介護ロボットを使用した介護を受けたいと思わない理由)

- ・ ロボットは便利なもので、これからの時代不可欠にはなると思うが、自分が介護するうえで、やはり、身体を使っての介護が人間らしくて良いと思う。

(どちらともいえない理由)

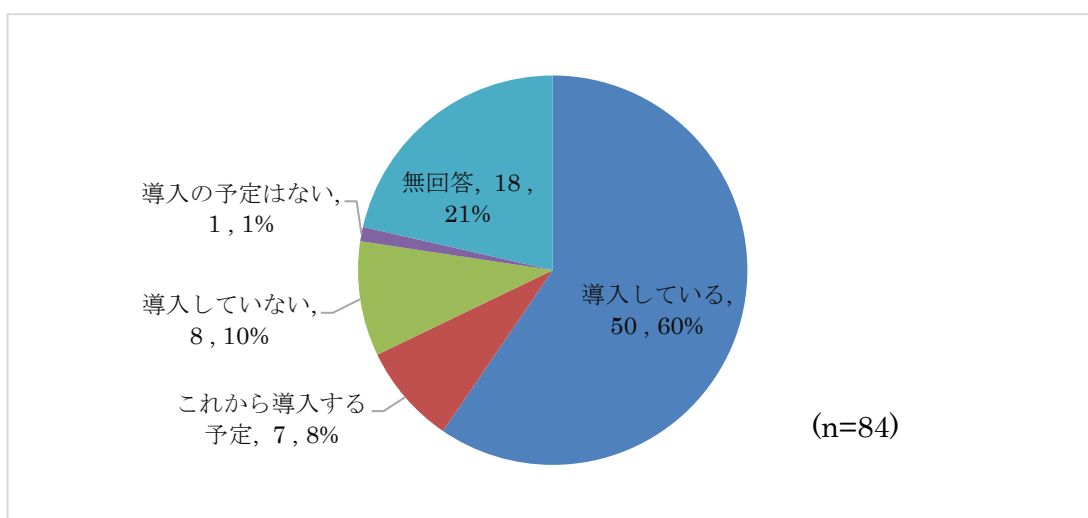
- ・ 説明を受け、納得できるものであれば、受けたいと思う。
- ・ 利便性・安心感はあると思う。見守りカメラ等のプライバシーの観点で不安もある。

(無回答の理由)

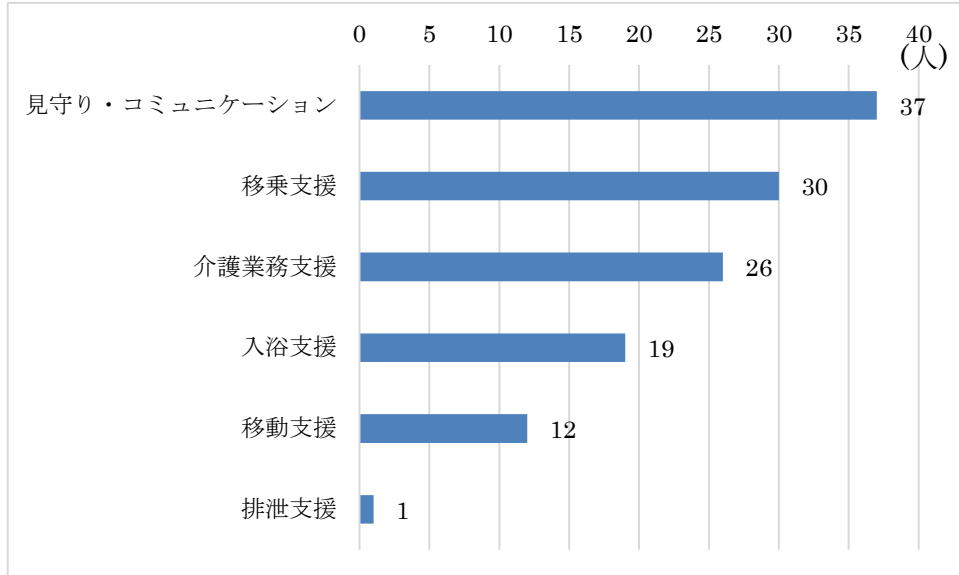
- ・ 安全性が高い。

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。(n=84)

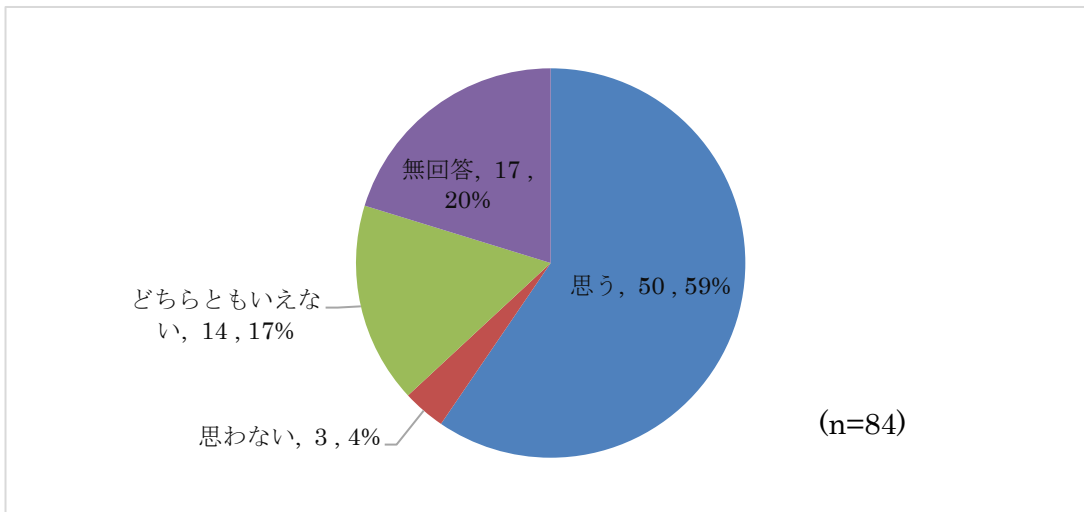
問7 あなたの職場では、介護ロボット・ICTを導入していますか。(単一回答、n=84)



問8 どのようなタイプの介護ロボットを導入済み又は導入予定ですか。(複数回答、n=84)



問9 あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。(単一回答、n=84)



(利用したいと思う理由)

- ・ お互いの負担軽減の為。
- ・ 負担が減ると思った。
- ・ 使いやすいものがあれば。
- ・ 前提として、利用者にとってどうかを考えたいうえで利用が妥当であれば。
- ・ 安全・安心の向上につながるから。
- ・ 負担や疼痛の軽減が期待できる。
- ・ 介護者の負担軽減。
- ・ 介護現場は人手不足もあり、業務での負担が多くあります。介護ロボットで補える部分は積極的に活用し、負担軽減に繋げていけると考えます。
- ・ 人員不足の解消が難しい中で、負担軽減が期待できる。
- ・ 安心安全。
- ・ 見守り支援の機器を使用したいと思うが、プライバシーの点で気になるため正しく理解して活用したい。
- ・ 負担軽減に繋がるならばよいと思った。
- ・ 負担軽減のため。

- ・ 負担軽減。
- ・ 楽になりたい。
- ・ 今後必要となる。
- ・ 身体の負担を減らすことができ、聴覚も不安なく介護が出来ると思った。
- ・ 必要だと思う。
- ・ 介護の負担にならないように。
- ・ 合理的。
- ・ 働きやすくしたいため。
- ・ 負担軽減。
- ・ 職員の心理的軽減の為。

(利用したいと思わない理由)

- ・ ロボットは便利なもので、これからの時代不可欠にはなると思うが、自分が介護するうえで、やはり、身体を使った介護が人間らしくて良いと思う。

厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

参加費
無料
入退場自由

介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

令和6年

1/26 金

11:00~16:30

開催場所

TOC有明

(東京都江東区有明)

4階コンベンションホール

WESTおよびEASTホール

<https://www.toc-ariake.jp/>



公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行うものです。

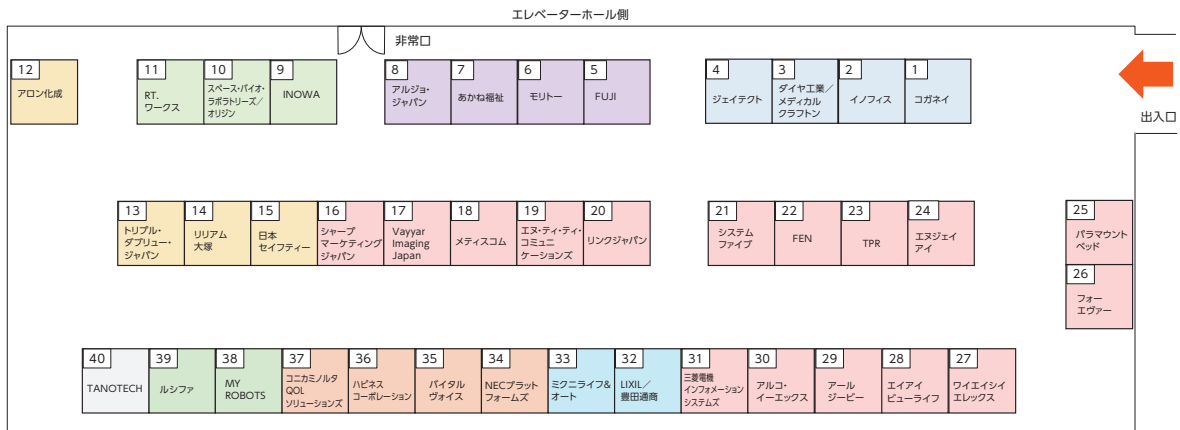
介護ロボット全国フォーラム

テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上を考えよう

WESTホール

最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00~16:30)

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか(40社の実機を展示)



窓側

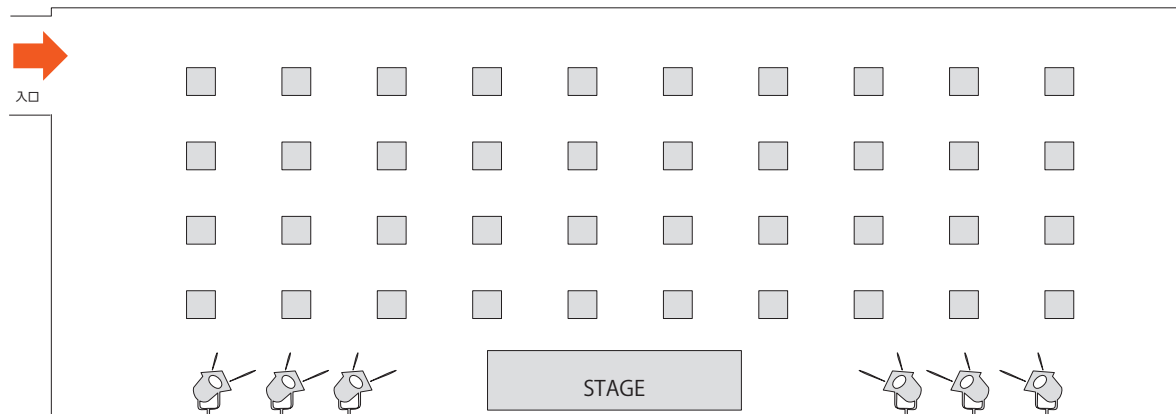
No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ分野
1	(株)コガネイ	Assist Lumbar(アシストランパー)	移乗支援(装着)	21	システムファイブ(株)	IoT見守りシステム「すいすいケア」	見守り・コミュニケーション
2	(株)イノフィス	マッスルスーツ	移乗支援(装着)	22	(株)FEN	どこでもナースコール・見守りセンサー	見守り・コミュニケーション
3	ダイヤ工業(株)／メディカルクラフトン(株)	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援(装着)	23	TPR(株)	介護施設向けコミュニケーションサポートロボット「CoRoMoCo®」	見守り・コミュニケーション
4	(株)ジェイテクト	介護用アシストスーツ J-PAS fiteairy(ジェイパス フレアリー)	移乗支援(装着)	24	(株)エヌジェイアイ	体動センサ 安心ひつじα	見守り・コミュニケーション
5	(株)FUJII	移乗サポートロボット Hug 防水タイプ (L1-01WP)	移乗支援(非装着)	25	パラマウントベッド(株)	見守り支援システム「眠りCONNECT」	見守り・コミュニケーション
6	(株)モリトー	介護リフトつるべY6セット Li-PINK Safety Robo	移乗支援(非装着)	26	(株)フォーエヴァー	【睡眠ケア】見守りシステム「いきいきセンサー」	見守り・コミュニケーション
7	(株)あかね福祉	移乗用介護ロボット「移乗です」	移乗支援(非装着)	27	ワイエイシイエレックス(株)	施設向け見守り支援システム ミール	見守り・コミュニケーション
8	アルジョ・ジャパン(株)	サラ・フレックス	移乗支援(非装着)	28	エイアイビューライフ(株)	自立支援型見守りロボット「A.I.Viewlife」	見守り・コミュニケーション
9	(株)INOWA	体感型歩行自立支援システム アルブル	移動支援	29	アールジービー(株)	TENSHIRU(テンシル)	見守り・コミュニケーション
10	(株)スペース・バイオ・ラボラトリーズ／(株)オリジン	歩行補助装置「RE-Gait®」	移動支援	30	(株)アルコ・イーエックス	ペイシェントウォッチャープラス	見守り・コミュニケーション
11	RT.ワークス(株)	ロボットアシストウォーカーRT.3	移動支援	31	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)	kizkia-Knight(きづきあ-ないと)	見守り・コミュニケーション
12	アロン化成(株)	ポータブルトイレFX-30 自動計測タイプ らくソウくん	排泄支援	32	(株)LIXIL／豊田通商(株)	泡シャワー KINUAMI Care	入浴支援
13	トリプル・ダブリュー・ジャパン(株)	排泄予測デバイス「DFree」	排泄支援	33	(株)ミクニライフ&オート	ミクニ マイティエースII 浴室セットROBO	入浴支援
14	(株)リリアム大塚	リリアムスポット 2	排泄支援	34	NECプラットフォームズ(株)	NECサニタリー利用記録システム	介護業務支援
15	日本セイフティ(株)	ラップボン／パケット	排泄支援	35	(株)バイタルヴォイス	VitalVoice オンライン自動モニタリングシステム	介護業務支援
16	シャープマーケティングジャパン(株)	ロボシルバーパーク	見守り・コミュニケーション	36	(株)ハビネスコーポレーション	IoT見守りシステム Happiness絆 / ハビネス キズナ	介護業務支援
17	Vayyar(バイヤー) Imaging Japan合同会社	ミリ波レーザーセンサー Vayyar Care(バイヤーケア)	見守り・コミュニケーション	37	コニカミノルタQOLソリューションズ(株)	HitomeQ(ひとめく) ケアサポート	介護業務支援
18	(株)メティスコム	高齢者見守りソリューション「ヴェスタ」	見守り・コミュニケーション	38	MY ROBOTS(株)	Obi Robot	介護分野で活用できる機器・技術等
19	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	みまもり おせっかいサポート	見守り・コミュニケーション	39	(株)ルシファ	トレpro	介護分野で活用できる機器・技術等
20	(株)リンクジャパン	eMamo	見守り・コミュニケーション	40	TANOTECH(株)	モーショントレーニングツールTANO	その他(シク・機能訓練等支援)



EASTホール

シンポジウム (13:00～16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)



13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事 黒岩 嘉弘 司会 公益財団法人テクノエイド協会
13:10-13:50 (各20分) 行政報告	「介護現場の生産性向上等を通じた働きやすい職場環境づくり」 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 峰村 浩司 氏 「経済産業省におけるロボット介護機器政策について」 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスクア産業課 医療・福祉機器産業室 総括補佐 長本 雅樹 氏
13:50-14:00	休憩
14:00-14:40 (各20分) 成果報告	「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について」 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームの構築、地域における生産性向上の取組に関する支援事業(中央管理事業)に関する取り組み」 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 太刀川 遼 氏
14:40-14:50	休憩
14:50-16:10 (各20分) 基調報告	テクノロジーを活用した介護現場の生産性向上の実践 「高品質サービスの追求 企業と連携したICT・IoTシステムの実践、活用事例の報告」 リハ・ハウス来夢 矢代 虎太郎 氏 「居宅サービスにおけるICTの導入状況 サ責とヘルパーの負担軽減とケアの質の向上」 ヘルパーステーション旭 所長 新井 仁子 氏 テクノロジーを活用した新たな介護システムの提案、事例 「テクノロジーを活用した新たな排泄ケアの提案、実践事例を通じて」 NECプラットフォームズ株式会社 三重野 勤 氏 「2040年を見据えた介護DXの推進、介護施設のICT化検討、実践事例を通じて」 キャノンシステムアンドサポート株式会社 神田 英彦 氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会

16:30 閉会

■ 出展機器



移乗支援(装着)

1 株式会社コガネイ

Assist Lumbar (アシストランバー)

中腰姿勢・前傾姿勢のときの腰部負担を低減するアシストスーツです。約700gの軽量性と中腰姿勢時の腰部負担を約24%低減できる確かなアシスト力を両立した製品です。簡単に装着できて、装着中も歩行動作を妨げません。入浴介助などの水回りでも使用可能(電気不使用)で、専用袋に入れて洗濯機で丸洗いです。



〒184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL.042-383-7138

2 株式会社イノフィス

マッスルスーツ

電気不使用で腰の負担を軽減。装着者の動作をアシストし、人や物を抱え上げたり、中腰姿勢を続けたりする際の身体負担を軽減。移乗介助、およびベッドでの排泄介助、体位変換などで活躍し、介助者の腰への負担を軽減します。また、本製品は防水仕様になっています。



〒192-0082 東京都八王子市東町7-6
エバース第12八王子ビル3階 TEL.080-5376-8889

3 ダイア工業株式会社 / メディカルクラフトン株式会社

DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)

介護者のための、まるで衣服のようなアシストスーツ。ひねり動作等の動きに対応でき、総重量は約800g。移乗動作のアシストを想定し、前屈やしやがむことで高反発ゴムが伸び、その張力を利用して前屈姿勢から上半身の起き上がりやしやがみ姿勢からの立ち上がりをアシスト。背中や腰、大腿の負担軽減に役立つ。空気を5回程度ポンピングするだけで中腰姿勢のキープを楽にできる。



〒701-0203 岡山県岡山市南区古新田1125
TEL.086-282-1770

4 株式会社ジェイテクト

介護用アシストスーツJ-PAS fleairy (ジェイパス フレアリー)

介護作業における腰の負担軽減に着目した介護用アシストスーツです。センサー内蔵で人の動きに調和し必要な時に必要な力をアシスト。移乗支援やおむつ交換など、幅広い介護作業で効果を発揮します。「先進性・独自性」及び「ユーザー視点」が評価され、第10回ロボット大賞において、優秀賞(ビジネス・社会実装部門)受賞。



〒448-8652 愛知県刈谷市朝日町1-1
TEL.0566-25-5193



移乗支援(非装着)

5 株式会社FUJI

移乗サポートロボット Hug 防水タイプ (L1-01WP)

一人で立ち上がることが難しいご利用者様のための移乗サポートロボットです。施設・病院において、脱衣・入浴時の立位保持、シャワーキャリーへの移乗、臀部シャワーなどお風呂場での移乗負担を軽減することが出来ます。ベルトやスリングを使わないので、リモコンの「たつ」「すわる」ボタン操作で簡単に利用できます。



問合せ先 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山19
TEL.0566-81-8276

6 株式会社モリトー

介護リフトつるべーY6セット Li-PINK Safety Robo

リフト吊り上げ時、約20kgの重さを感じるとリフトが一旦止まり、安全確認のための音声ガイドが流れます。吊り具の掛け忘れ、掛け間違いを自動で修正するものではありません。



問合せ先 〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36
TEL.0586-72-4555

7 株式会社あかね福祉

移乗用介護ロボット「移乗です」

要介護者は座り姿勢のままリフトされるため、「楽」に移乗介助を受けることができ、介護者は単純操作で「簡単」に移乗介助を行うことができます。高齢の職員さんも移乗介助に不安を抱える職員さんも、誰でも安心して操作できることから介護現場の生産性の向上に貢献できます。



問合せ先 〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字雷神16-1
TEL.024-937-5022

8 アルジョ・ジャパン株式会社

サラ・フレックス

一人介助で座位⇄立位へと電動でサポートをする立位/移乗補助器です。利用者の腰にスリングを装着し、フックを本体に取り付けてボタンを押すだけの簡単操作。脚部は電動開閉で、車いすや便器などへの移乗もスムーズ。また認知症にも優しいデザインとしてDSDC製品適格性認定を受けております。



問合せ先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-7-8
ランディック第二虎ノ門ビル9F TEL.03-6435-6401



9 株式会社INOWA

体感型歩行自立支援システム アルブル

アクティブシニア向け、フレイル予防にお使いいただける自立歩行支援システムです。歩きを“体感”し、パートナーと“共感”し、歩行の改善を行います。



問合せ先 〒106-0045 東京都港区麻布十番2-12-5-701
TEL.03-5730-0282

■ 出展機器

10 スペース・バイオ・ラボラトリーズ／株式会社オリジン

歩行補助装置 [RE-Gait®]

「歩ける感動をもう一度」をテーマに医工連携で開発され、脳卒中後の片麻痺の方の歩行をアシストして、正確な歩き方に近づける事を目的としている。片麻痺患者様は代償運動で歩行をしている方が多く「発症前の歩き方には戻れない」と思い込んでおり、そんな方々に使用することで希望をもってリハビリを継続する事が出来る。



問合せ先 〒206-0036 東京都多摩市中沢2丁目20-5
ベルクレールタカムラⅢ1F TEL.042-400-0378

11 RT.ワークス株式会社

ロボットアシスト ウォーカーRT.3

ロボット技術により路面状況や速度超過等を検知し、自動の電動アシスト機能が安心、快適な歩行を実現。上り坂はパワーアシストで楽に登れ、下り坂は適度に減速、傾いた道もハンドルを取られることなく進めます。



問合せ先 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-26
サクラ森ノ宮ビル11階 TEL.06-6975-6650

12 アロン化成株式会社

ポータブルトイレ FX-30 自動計測タイプ らくゾウくん

スマホ、タブレットで「日々の排せつの記録」と「排せつ状態の通知」を受け取れるポータブルトイレです。高齢者の健康状態の確認が行えます。また見守り負担や排せつ介助の負担を軽減します。



問合せ先 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6
住友不動産日比谷ビル8F TEL.03-3502-1448

13 トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

排泄予測デバイス [DFree]

超音波センサーで膀胱内の尿のたまり具合を捉えて、スマートデバイス等へトイレのタイミングを事前にお知らせする排泄予測の介護ロボットです。



問合せ先 〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目10番9号
ラウンドクロス赤坂9階 TEL.03-5459-1295

14 株式会社リリアム大塚

リリアムスポット 2

「リリアムスポット 2」は、膀胱内の尿の溜まり具合の目安を10段階の目盛り表示で確認できるヘルスケア家電(非医療機器)です。トイレ誘導のタイミングが合わずお困りの方、尿意が曖昧な方や尿意を頻繁に訴える方など、尿の溜まり具合や排尿後に尿を出し切れているかを確認したい時にお役立ていただくことができます。



問合せ先 〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央1-1-1
ジブラルタ生命相模原ビル3階 TEL.042-707-4258

15 日本セイフティー株式会社

ラップボン・パケット

自動ラップシステムを搭載したおむつ回収ボックスです。使用済おむつをフィルムの中に熟圧着にて密閉してから自動で切り離します。特殊フィルムと熟圧着のW効果で臭いや菌を漏らしません。おむつの“感染予防”と“臭い”をボタン一つで解決します。まとめて廃棄できるので介護従事者の方々の作業効率をアップします。



問合せ先

〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地
一番町東急ビル11F TEL.03-6369-2223



16 シャープマーケティング ジャパン株式会社

ロボシルバーパーク

- シャープのコミュニケーションロボット「ロボホン」と「タブレット」を活用して、かるたやクイズ、歌などのレクリエーション実施をお手伝いします。
- 操作はタブレット画面で行うので簡単!
- 施設職員のレクへの負担軽減と高齢者のQOL向上を目指しています。



問合せ先

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号
シーパンス館 TEL.080-4325-9404

17 Vayyar Imaging Japan

ミリ波レーダーセンサー Vayyar Care (パヤーカー)

解像度の高いミリ波レーダー技術により1台のセンサーがご利用者の居室内の状態や転倒の有無を検知し、介護者へ通知します。カメラを使用しないためプライバシーが守られ、トイレや脱衣場等にも設置可能です。各社ナースコール、見守りシステム用のセンサーとしてご採用いただく前提で設計されています。



問合せ先

〒108-0075 東京都港区港南2-16-1
品川イースワングタワー 7F TEL.070-4393-3726

18 株式会社メティスコム

高齢者見守りソリューション"ヴェスタ"

光学機器、カメラを利用して、高齢者の尊厳、プライバシーを守る高齢者見守りソリューション。利用者様の居室内の行動、または異常を可視化。業務の効率化、ケアプランの作成、見直し等をサポートします。



問合せ先

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークプラザ5F TEL.045-285-3687

19 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

みまもり おせっかいサポート

スマートフォンのカメラで高齢者等の転倒を検知し通知するサービスです。AI映像解析技術により素早く検知し、みまもり者へ通知します。また、遠隔からの状況確認や、伝言メッセージを読み上げるなど、みまもり者からの能動的な見守りも可能です。



- ・天井高にスマホを設置して見守り
- ・転倒時は事前登録した介護スタッフに自動通知

問合せ先

〒100-8019 東京都千代田区大手町2丁目3-1
大手町プレイスウエストタワー 29F TEL.050-3811-4170

■ 出展機器

20 株式会社リンクジャパン

eMamo



eMamo(イーマモ)はAIとIoT技術を駆使し、高齢者のヘルスケアに必要なあらゆる製品とサービスを一本化する事により、介護効率、見守り、自立支援をサポートするIoTプラットフォームサービスです。

問合せ先 〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル7F
TEL.050-5363-8177

21 システムファイブ株式会社

IoT見守りシステム「すいすいケア」

すいすいケアは、センサー、カメラ、スマホの連携で夜勤の見守り業務負担を軽減する見守りシステムです。センサー反応時スマホで居室のカメラ映像を確認できるので訪室前の駆け付け要否・介助優先順位の判断が可能となり不要な駆け付け削減に繋がります。また共用部、出入口等に設置することで徘徊・離脱も防止も可能です。



問合せ先 〒852-8053 長崎県長崎市葉山1丁目9番31号
日障シャトービル2階 TEL.095-856-6160

22 株式会社FEN

どこでもナースコール・見守りセンサー

携帯回線を利用した、ワイヤレスのナースコール&見守りシステムです。コールボタン、各種センサーは、無線のため自由に配置できます。WiFi不要、工事不要で初期コストを抑え簡単に導入が出来ます。



問合せ先 〒135-0042 東京都江東区木場2-7-23第一びる本館3F
TEL.03-4431-1896

23 TPR株式会社

介護施設向けコミュニケーションサポートロボット「CoRoMoCo®」

「CoRoMoCo®」は、抱っこすることで「バイタル」や「気持ち」を測定できる、介護施設向けのコミュニケーションサポートロボットです。楽しい会話等で利用者を癒し、介護士の業務負担軽減と利用者のストレスケアをサポートします。



問合せ先 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2
新丸の内センタービル TEL.03-5293-2819

24 株式会社エヌジェイアイ

体動センサ 安心ひつじα

マットレスの下に敷き非接触で心拍呼吸を検知し、異常を検知したらアラートでお知らせします。煩わしい複雑な操作は一切行うことのないスマートな設計で、無駄なアラートを発生させない機能によりスタッフの見守りをサポートします。クラウドサービスのため在宅での活用も可能です。



問合せ先 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字前林10-4
TEL.0120-914-469

25 パラマウントベッド株式会社

見守り支援システム「眠りCONNECT」

「眠りSCAN」を利用した見守り支援システムが、「眠りCONNECT」としてフルモデルチェンジ。システムが使いやすく、見やすく大きく進化。クラウドと連携することで、ダッシュボード管理やデータのバックアップ、アプリのアップデートが行えるので、より安心してご使用いただけます。睡眠研究所による活用支援サービスもご提案します。

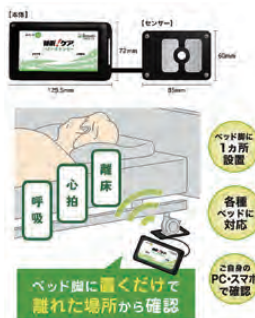


問合せ先 〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5
TEL.03-3648-1077

26 株式会社フォーエヴァー

【睡眠!ケア】 見守りシステム 「いきいきセンサー」

見守りセンサーとしては最小クラスのセンサーを「1つ」ベッドの脚に敷くだけで利用者の離床、心拍、呼吸の状態を見守る機器です。通知機能は利用者ごとに設定でき、離床や異常をPCやスマホ発信。夜間見回り業務や精神的な負担の軽減に活躍します。クラウドを利用し離れた場所からでも見守りが可能で在宅でも有用性が高い。



問合せ先

〒531-0072 大阪市北区豊崎5-6-10商業ビル
TEL.06-6486-1054

27 ワイエシイエレックス株式会社

施設向け見守り支援システム ミール

施設向け見守り支援システムミールは離床記録機能で日時の確認が出来ます。またベッドサイドでの転倒時の動画記録も確認でき、事故の再発防止などの対策検討に活かします。通常時はベッドから起き上がりまたは端坐位の状態を素早く検知し、専用携帯端末に通知および、その場で映像をモニタリングすることも可能です。



問合せ先

〒578-0912 大阪府東大阪市角田2丁目1-36
TEL.072-963-1003

28 エイアイビューライフ株式会社

自立支援型見守りロボット 【A.I.Viewlife】

「見る・知る・話す」を基本機能に、赤外線センサーと生体センサーが昼夜問わず居室全体を見守り、検知・通知・記録することで、事故の防止や不要な訪室を削減します。モバイル端末で居室内映像を見ながら直接会話したり、動作検知や設定時刻に自動で行う「声かけ」機能により、人手不足に悩む介護現場の働き方を変えます。



問合せ先

〒102-0092 東京都千代田区隼町2番13号
US半蔵門ビル201 TEL.03-6261-6327

29 アールジービー株式会社

TENSHIRU (テンシル)

高性能なミリ波レーダーセンサーで、入居者の動きを検知する見守りシステムです。検知した情報をパソコンやタブレットから閲覧し、複数の入居者の情報を見守ることが出来ます。転倒を検知した場合は、指定の電話やメールにもお知らせを発信します。また、居室内およびベッド上の在・不在の検知も可能です。



問合せ先

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目8-22
よしみビル3階 TEL.092-413-2634

30 株式会社アルコ・イーエックス

パシエントウォッチャープラス

パシエントウォッチャープラスは、赤外線カメラを使用した見守りシステムで、人の目に代わって利用者を見守り続けます。インターネット経由で離れた場所からでもいつでも見たいときに様子を確認いただけます。オプションのバイタルレーダーセンサーと接続する事で、呼吸数・脈拍数の計測や睡眠の質も把握可能です。



問合せ先

〒312-0036 茨城県ひたちなか市津田東4-10-5
TEL.029-275-8072

31 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

kizkia-Knight (きづきあ-ないと)

「見る」ことで介護スタッフの負担軽減を!! 居室やトイレ内をプライバシーに配慮して見守ることが出来ます。センサーが鳴った時などに、他の場所から様子を「見て」駆けつけ要否を判断することができ、不必要な訪室を削減できます。設置や移動が簡単に運営中の施設にもお気軽に導入いただけます。



問合せ先

〒108-0073 東京都港区三田3-5-19
東京三田ガーデンタワー TEL.03-5445-7306

■ 出展機器



入浴支援

32 株式会社LIXIL / 豊田通商株式会社

泡シャワー KINUAMI Care

ボディソープとお湯で泡立てたきめ細かなもちもち泡で、全身を包み込む新感覚シャワー。ご利用者様のリラクゼーション効果はもちろん、入浴介助作業が抜群に楽になり、時間短縮による費用削減効果も見込めます。乾燥による皮膚トラブルの予防、褥瘡や疾患など皮膚トラブルのある方のケアにも最適です。



問合せ先

〒108-8208 東京都港区港南2-3-13
TEL.050-3155-9814 (豊田通商株式会社)

33 株式会社ミクニライフ&オート

ミクニマイティエースII浴室セットROBO

20周年を迎えたミクニマイティエースII浴室セットに、待望の介護ロボット仕様を追加しました。基本機能はそのままに、更に安全性を高めています。リフトは省スペース設計で、既存のユニットバスや在来の浴室、大浴場に設置可能。操作は無線電波式リモコンの採用により、使い勝手の良いリフトになっております。



問合せ先

〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1
TEL.0480-31-8541



介護業務支援 介護分野で活用できる機器・技術等

34 NECプラットフォームズ株式会社

NECサニタリー利用記録システム

介護施設において利用者のプライバシーを守りながら介護職員のトイレに関わる業務負担を軽減するシステムです。トイレに設置したセンサが利用者の排泄を自動で検知・通知し、利用者の見守りと排泄記録の自動化を行います。(※本製品は医療機器ではありません。)



問合せ先

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目4-7
メットライフ仙台ビル(仙台事業所) TEL.022-212-5852

35 株式会社バイタルヴォイス

VitalVoice オンライン 自動モニタリング システム

VITAL VOICE
オンライン自動モニタリングシステム

弊社独自開発のバイタルウォッチ(センサー)により、ご利用者はウォッチを装着しているだけで、4つのバイタル(1脈拍、2血圧、3体温、4酸素)を2分毎に自動でモニタリングできます。
※3は4分毎このシステムにより、高齢者の重症化を未然に防いだり、非接触での介助スタッフの労務軽減が実現できます。



問合せ先

〒719-1106 岡山県総社市泉15-44 2F
TEL.0866-31-5775

36 株式会社ハピネス コーポレーション

IoT見守りシステム Happiness絆/ ハピネス キズナ

対象者に合わせて選択できる豊富なセンサー
を用意。
スマートフォンで閲覧操作が可能。
管理画面は見やすい、わかりやすい、使いやす
い画面です。



問合せ先

〒106-0032 東京都港区六本木7丁目7番7号
トライセブン六本木8階 TEL.0120-355-873

37 コニカミノルタQOL ソリューションズ株式会社

HitomeQ(ひとめく) ケアサポート

ナースコール・見守り・データ活用が
1つに集約!
行動分析センサーから得られる映像
とデータで、ブラックボックスだった
お部屋での利用者様のことがより分
かります。
導入施設様では、転倒削減や人材定
着率が向上し、業務効率化とケア品
質向上を両立しています。
導入・活用支援も充実し、施設での
活用をしっかりと伴走します。



問合せ先

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目27-10
八丁堀プラザビル5F TEL.03-6262-1552

38 MY ROBOTS株式会社

Obi Robot

Obi Robotは食事介助を受けて
いる全ての人たちに食事におけ
る自立性、尊厳、楽しみを再び感
じてもらうことができるロボット
です。食べることは人生最大の
楽しみの一つですが介助を受け
ている人にとって食事は楽しい
ものではなくなくなってしまっ
ています。Obi Robotは全ての人に自
立し幸せかつ充実した食事のひ
と時を提供することができます。



問合せ先

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
8F WeWork内 TEL.080-3242-6715

39 株式会社ルシファ

トレpro

要支援・要介護者向けの運動プロ
グラム自動作成システム。専用ア
プでおこなう体力測定の結果や
年齢、性別、疾患情報をふまえ、
個々の身体機能に適した個別の
運動プログラムが作成できる。大
学や研究所との共同開発し、81%
の利用者に効果を認めた。理学療
法士が不在のデイサービスや訪
看、介護予防事業等で導入実績あ
り。



無料デモのお申し込みはこちら

問合せ先

〒006-0815 北海道札幌市手稲区前田5条13丁目3番地1号
トライアル手稲店2階 TEL.090-6112-2880



40 TANOTECH株式会社

モーショントレーニングツールTANO

モーションセンサーを
使用し、非接触・非装着でセ
ンサーの前に立つ(座る)
だけで体の動きや音声を
感知し、200種類以上の
コンテンツでレクリエー
ション業務、リハビリ・機能
訓練業務、体力測定業務
を支援・負担軽減するこ
とができるツールです。



問合せ先

〒254-0035 神奈川県平塚市宮の前1-4パーレン平塚ビル5F
TEL.0463-73-5490

「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について

テクノイド協会では、介護ロボット等の開発及び、実証等をより一層推進するため、ご協力いただける介護福祉施設等を募集しています。



テクノイド協会

「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について (登録のお願い)

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールドを募集します！

概要・目的
日本の介護は世界に例をない課題で進行しており、高齢者の増やと介護者の負担軽減、さらには高い介護サービスを体系的に行うためには、ロボット技術を用いた福祉用具・介護ロボット（介護ロボット等）の開発と実証が不可欠です。厚生労働省では「介護ロボット導入促進事業」において、介護現場での介護ロボット等の実証事業を行っているところですが、介護現場のニーズを踏まえ、開発や実証の促進を図るためには、介護現場と開発企業等の連携をより一層必要とされています。こうした背景を踏まえ、テクノイド協会では、介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、実証の促進をより一層推進することを目的としております。事業の進捗をご連絡いただき、終了いただける介護福祉施設、開発サービス等の関係事業者様におかれましては、ご登録いただきたく存じます。

募集する介護施設等
介護福祉施設、開発サービス、開発事業者 等
※1 介護サービス事業者様となります。
※2 介護保険以外の事業種別や開発施設、開発サービス等の事業者も登録可能です。

登録方法
下記の入フォームより登録を行ってください。

1 介護施設、リハビリテーションセンター等の方はこちら

2 都道府県、市町村、介護実習・普及センター、地域包括支援センター等の方はこちら

※1-2 同時登録できないため、あらかじめ入力内容をご確認ください

登録リストの活用
(1) 貴協会や厚生労働省等から事業の案内や介護ロボットに関する最新情報をメールにて配信します。
(2) 登録情報は厚生労働省及びプラットフォーム事業者等の委託先へ提供します。

介護施設等

テクノイド協会

厚生労働省等

※令和3年8月 修正

詳細はテクノイド協会ホームページをご確認ください。
皆様のご登録お待ちしております。

公益財団法人テクノイド協会 企画部 伊東・松本・五島(ごしま)事務局
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話番号 03(3266)6883 FAX 03(3266)6885

企業向け

令和5年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、
「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、
「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

募集要項

令和5年6月

公益財団法人テクノエイド協会

本事業は、当協会が厚生労働省老健局から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行う事業です。従って、予定する件数や予算に到達しだい受付終了となりますので、予めご了承ください。詳しくは、当協会までお尋ねください。

本事業で使用する様式は、当協会のホームページ（<https://www.techno-aids.or.jp/>）からダウンロードしてください。

目 次

1. 目的、事業の概要	1
2. 事業内容	3
A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集	3
(1) 募集対象者	3
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	3
(3) 実施内容等	4
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023」の作成について	5
B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集	5
(1) 募集対象者	5
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	5
(3) 実施内容等	6
(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023」の作成について	7
C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集	7
(1) 募集対象者	7
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	7
(3) 実施内容	8
(4) モニター調査の枠組み	9
(5) 応募書類と方法	10
(6) 募集期間	10
(7) 採否の決定等	11
(8) モニター調査の流れ	11
(9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023」の作成について	13
3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）	13
4. 様式（企業向けの様式）	15
様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）	15
様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）	16
様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）	18
様式D（介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書）	19
様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）	22
5. 参考資料（介護施設等向けの様式）	23
様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）	23
様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）	25
様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）	26
様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）	27
様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）	29
様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）	31
公益財団法人テクノエイド協会の概要	32

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、「試作介護機器へのアドバイス支援事業」、「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

～ 募集要項 ～

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

現状・課題

【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

資料：厚生労働省

1. 目的、事業の概要

当協会では、厚生労働省老健局より受託し「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」を実施しています。

本事業は、高齢者介護の現場において、高齢者の尊厳ある自立した生活の保障を目指すための「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」。）」について、実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業です。

この度、本事業の一環として、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、次頁以降に記載する3事業を行うことと致しました。

それぞれの事業の趣旨を踏まえ、いずれか（あるいは複数）の事業を希望される企業の方は、本書記載の内容に沿って応募してください。

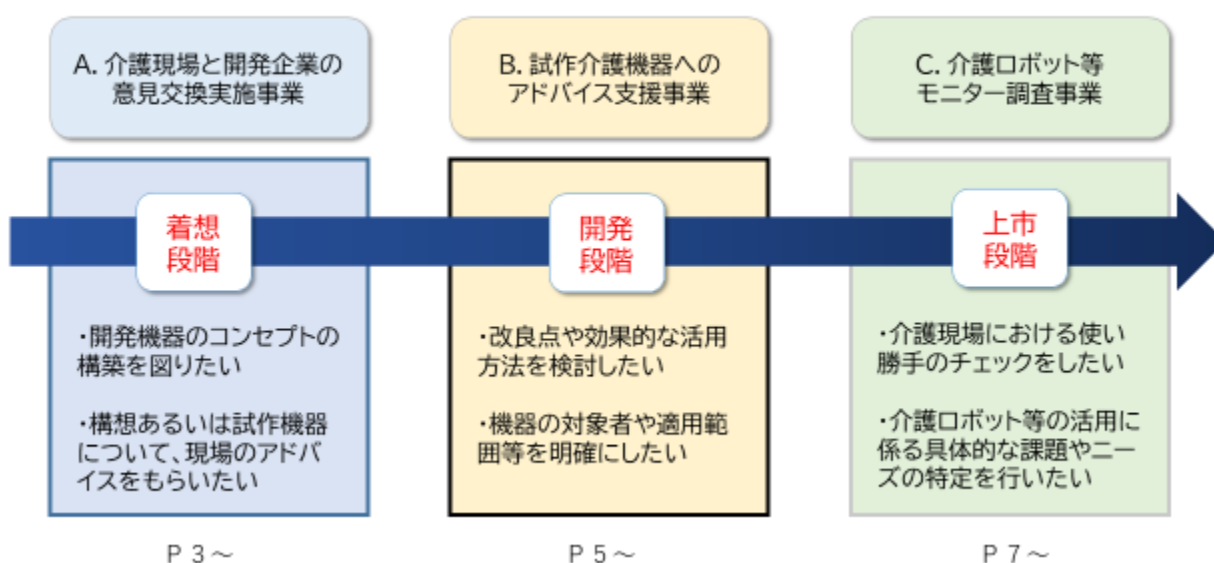
なお、本事業は、予算の範囲で実施するものであり、予定の件数に到達しだい受付終了となりますので

で予めご了承ください。

また、本事業においては、介護現場・有識者等からの意見を通じて、介護ロボット等に対する利用効果や使い勝手等の課題や改良点等について支援を実施するものではありませんが、利用効果や使い勝手等の課題は、使用場所（提供サービス）・使用場面・利用者像等によって様々異なるものです。

本事業への参加を以て、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等を終えるのではなく、継続して介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」という。）等を活用し、改善に努めて頂くようお願いいたします。

3事業の概要 (開発段階に応じた事業メニュー)



※開発（検討）中の機器がどの段階にあるか不明な場合は、当協会までご相談ください。

開発段階に応じた事業メニュー		開発段階	機器等	実施期間
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	コンセプト段階 開発中（試作段階）		1～2日間
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1週間～1ヶ月程度
C	介護ロボット等モニター調査事業	開発中もしくは上市間 もない（1年以内）	必須	1ヶ月～6ヶ月程度

(事業で使用する様式)

事業メニュー		依頼書 様式A	依頼概要書 様式B	要望書 様式C	計画概要書 様式D	事業報告書 様式E
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○	○			
B	試作介護機器へのアドバイス支援事業	○	○			
C	介護ロボット等モニター調査事業			○	○	○
本書の掲載頁 →		P 1 5	P 1 6	P 1 8	P 1 9	P 2 2

※Cの事業には、応募期限があります。(P 1 0)

※各様式は、当協会ホームページからダウンロードできます。

なお、本事業によって得た利用者等の個人情報についての、目的外使用、また、第三者に開示若しくは漏洩してはならないものとする。

2. 事業内容

A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等についての話し合いを行います。

(1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作介護機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしませんが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

10件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和5年6月5日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和5年6月～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼書	……	P15
様式B	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼概要書	……	P16
任意様式	会社概要（A4で1枚程度）			

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<https://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書	………	P 2 3
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書	………	P 2 5
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書	………	P 2 6

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることであります。

(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/file04/01kaihatu2022.pdf>

B. 「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の募集

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促します。

(1) 募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしますが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和5年6月5日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和5年6月～（※実施期間：1週間～1ヶ月程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・試作介護機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼書	……	P15
様式B	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等	依頼概要書	……	P16
任意様式	会社概要（A4で1枚程度）			

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<https://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書	……	P 2 3
様式 2	介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書	……	P 2 5
様式 3	介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業 請求書	…	P 2 6

※様式 1 及び 2、3 は、「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」と同様の様式です。

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることで済みます。

(4) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2023」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2022

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/file04/01kaihatu2022.pdf>

C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うこととします。

モニター調査と合わせて、実証試験を行うことも可能です。

(1) 募集対象者

以下の2つの条件を満たす必要があります。

- ① 本モニター調査は、後述する(4)に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等が対象となります。
- ② 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等が対象となります。

※工学的な安全性についての確認が必要な機器については、介護ロボットのプラットフォーム事業における相談窓口やリビングラボをご活用ください。

(2) 募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとしませんが、高齢者の行動の自由を制限する可能性のある機器

は対象としません。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容

①実施期間

採択決定後～令和6年1月末

※モニター調査の期間は、内容や規模を考慮し協力施設等を相談して決定すること。

②採択件数

10件程度

③モニター調査の期間

1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）

④費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・モニター調査協力費として、15万円

⑤企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。但し、10件に到達した時点でマッチングは終了となります。

⑥モニター調査実施にあたっての留意

- ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的としております。
- ・申請に当たって、実施するモニター調査の内容の一部を登録施設等へ情報提供するとともに、当協会のホームページから情報提供することに同意いただくことになります。
- ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、当協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行います。
- ・モニター調査は、利用者の同意を得て実施することとし、安全性への配慮が必要な案件については、保険の加入を促すこととする。また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施が必須となります。

(4) モニター調査の枠組み

本モニター調査は、下記にまとめた①～⑤の観点に基づいて実施していただきます。（ただし、①～⑤の全てを行う必要はありません）

応募に際して、機器開発の状況、今回のモニター調査で把握したい事項などについて、この枠組みに即して記載してください。

なお、利用者に対する効果・影響、介護者の負担軽減等について客観的データ取得に努めるものとして、③については、取得を必須とする指標を定めておりますので、ご留意ください。

モニター調査項目の基本的な考え方と指標の例

①利用対象者の適用範囲

開発の狙いと想定する身体機能レベルの整合性について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	要介護度、ベッド利用時の状態・時間・転落の危険性の有無、姿勢保持レベル、コミュニケーション能力、歩行・移動の自立度、排泄の自立度
調査結果の活用	利用者の適用範囲について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

②利用環境の条件

機器利用環境の条件について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	利用時に必要となる空間（広さ）、設備、介助者の条件
調査結果の活用	利用環境について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

③機器の利用効果

機器開発の狙いに即して、調査すべき項目・指標を設定する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標設定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究開発の蓄積から、独自に設定。 ・学識経験者、類似開発経験者等有識者の指導・協力を得て設定。 ・モニター調査協力施設との意見交換により設定。等
指標	<ul style="list-style-type: none"> i 被介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） 要介護度、ADL、IADL（FIM 指標）、LSA（Life Space Assessment）、日常生活時間、QOL（sf-36、QOL26 等）

	ii 介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） 腰痛等の有無、介護負担指標（Zarit 介護負担尺度、BIC-11 等）、ストレス指標、生体情報（筋電図、心電図、運動解析情報） iii 介護サービス提供全体の流れ プロセス全体の時間、人員構成、職務タイムスタディ法
調査結果の活用	提案するロボットを活用することにより、各指標がどの程度改善したか確認する。改善が見られない場合は、その原因を把握し、ロボットの改良につなげる。

④機器の導入・活用可能性

開発するロボットの操作可能性（介護職員等が取扱うことができる技術であるか）、想定される導入コスト、導入した場合の利用者満足度を調査する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認
指標	・ QUEST（満足度評価） ・ VAS（Visual Analogue Scale） ・ SUS（System Usability Scale）
調査結果の活用	開発するロボットが、介護現場にとって導入・活用が可能なものか確認し、導入・活用が困難な場合は搭載する技術の見直し等を行う。

⑤介護現場での利用継続性

上記①～④の調査を踏まえた上で、モニター調査に協力した施設等で継続して利用したいと思うか調査する。

調査手法	インタビュー法、質問紙法等
調査内容	利用継続性の有無について、その理由も聴取
調査結果の活用	理由に基づき、今後の改良・修正箇所の確認、新商品の開発につなげる。

（5）応募書類と方法

●提出資料

- | | | | | |
|------|-----------------|-------|----|------------|
| 様式C | 介護ロボット等モニター調査事業 | 要望書 | …… | P18 |
| 様式D | 介護ロボット等モニター調査事業 | 計画概要書 | …… | P19 |
| 任意様式 | 会社概要（A4で1枚程度） | | | |

●提出方法

電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限 **令和5年7月3日（月）12時**

（6）募集期間

令和5年6月5日（月）～7月3日（月）12時

※）募集期間に予定の件数及び予算に満たない場合には追加募集します。詳しくは当協会にお尋ねください。

(7) 採否の決定等

当協会による書面審査及び当協会が設置するモニター調査検討委員会の意見を踏まえて、最終的に当協会が決定します。

採否については、決定しだい応募された方へ通知いたします。

但し、介護施設等とのマッチング件数は、10件程度となります。10件に到達した時点で受付は終了となります。従って、採択されてもモニター調査先を選定することができない場合もあり得ることを予めご了承ください。

本事業に採択された企業におかれましては、2月(予定)に開催するモニター調査検討委員会において成果報告のプレゼンテーションを行っていただきます。

(8) モニター調査の流れ

★7月3日(月) 12時厳守

(様式C) 介護ロボット等モニター調査事業 要望書及び、

(様式D) 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書の提出期限

→ 協会にて書面審査を行います。

本事業は、企業に対する費用の交付はございませんが、介護施設等に対してモニター調査協力を当協会から予算の範囲内で交付します。従って、事務処理の都合上、一定程度の募集期間を設けておりますが、期間内で既定の応募件数を満たない場合には、追加募集することといたしません。詳しくは、協会まで問い合わせてください。

→ 書面審査の結果を踏まえて、次のステップへ進みます。



★7月下旬～

① → **試用介護機器等の事前検証**の実施

書面審査の結果をクリアした案件については、原則として、当協会が設置する「モニター調査検討委員会」において、**試用介護機器等の事前検証**を行います。

事前検証は、**当協会が指定した開催日に会場(東京都内を予定)までお越しいただき、当該機器の対象及び有用性、さらには想定するモニター調査の内容等について説明していただきます。**

なお、事前検証に伴う旅費等の費用は応募者の負担となります。

また、新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

② → 委員会による審議を踏まえて、**採択企業を決定**

委員会審議の結果を送付します。

なお、委員会による審議の結果、モニター調査としては不採択であっても、当協会から「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」「試作介護機器へのアドバイス支援事業」の実施へ誘導する場合があります。

③ → 採択後の**モニター調査の計画作成に係わる助言・指導**

適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成にあたって、当協会の設置するモニター調査検討委員会等から、助言・指導を得ることができます。

④ → モニター調査を実施する**介護施設等とのマッチング**

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

10件の採択件数に到達した時点で受付終了となります。

次のステップへ進みます。



★8月上旬～令和6年1月末

→ 介護施設等において、**介護ロボット等モニター調査**の実施

調査開始にあたり、協力いただく介護施設等と相談のうえ「計画概要書（様式D）」を実際の調査内容に合わせて修正し、再提出いただくことも可能です。

→ モニター調査終了後、「事業報告書（様式E）」を提出していただきます。

必要に応じて協会職員が同行し、また適切なモニター調査が行われるよう、状況に応じて当該機器に適した専門家等を派遣します。

当協会では、製品の安全性やモニター調査にあたって生じた事故等の責任を負いません。必要に応じて保険をかけるなどし、十分注意して調査を行ってください。



★令和6年2月（予定）

→ モニター調査検討委員会において、**成果報告のプレゼンテーション**の実施

モニター調査結果を踏まえて、プレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料のご用意をお願いします。開催日はおってお知らせします。

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

※事業の実施後、介護ロボットのプラットフォーム事業における相談窓口・リビングラボ等の取組を紹介し、介護現場での活用方法の検討や機器の改良等に向けて、更なる支援を希望する場合、当該事業の事務局への取次ぎを行います。

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 4	介護ロボット等モニター調査 実施希望書	……	P 2 7
様式 5	介護ロボット等モニター調査 結果報告書	……	P 2 9
様式 6	モニター調査事業・協力施設 請求書	………	P 3 1

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について!

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で実施の打合せを行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることであります。

(9) 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2023」の作成について

事業終了時に成果報告を冊子として取りまとめる予定です。原稿の作成にご協力をお願いいたします。

(参考) 福祉用具・介護ロボットの開発と普及2022

<https://www.techno-aids.or.jp/robot/file04/01kaihatu2022.pdf>

3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（伊東・松本・五島（ごしま））
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL 03（3266）6883
電子メール monitor@techno-aids.or.jp

メモ

日付	問い合わせ内容	結果・対応

4. 様式（企業向けの様式）

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

2. 依頼者（企業）の概要

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）		
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）	試作介護機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>①想定する使用者</p> <p>②想定する使用場面</p> <p>③想定する使用方法</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式C (介護ロボット等モニター調査事業 要望書)

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要 (任意様式)
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類 (任意様式)
※) 実績がない場合は、提出不要

(本書類の取扱いと留意事項について)

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご注意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望		

2. 試用介護機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	
機器の概要 (写真を添付すること)	<u>想定する使用者、使用場面</u>
	<u>機能と使用方法、有用性</u>
	<u>類似する機器との相違</u>
	<u>当該機器と介護業務との関連性</u>

現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント</u> （性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。
	<u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。
	<u>開発に関する当面の課題</u>

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	
2. 調査概要	1) 調査対象： 2) 調査したい場面、場所： 3) 調査期間（日数）： 4) 機器の台数：

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP9～10を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	【調査手法】 <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他： 【想定する調査方法】
---------------------	---

2. 利用環境の条件 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
3. 機器の利用効果 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【取得指標】</p> <p>i 被介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） <input type="checkbox"/>要介護度 <input type="checkbox"/>ADL <input type="checkbox"/>IADL <input type="checkbox"/>LSA <input type="checkbox"/>日常生活時間 <input type="checkbox"/>QOL <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>ii 介護者（取得必須指標、以下のうち1つ以上） <input type="checkbox"/>腰痛等の有無 <input type="checkbox"/>介護負担指標 <input type="checkbox"/>ストレス指標 <input type="checkbox"/>生体情報 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>iii 介護サービス提供全体の流れ <input type="checkbox"/>プロセス全体の時間 <input type="checkbox"/>人員構成 <input type="checkbox"/>職務タイムスタディ法 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>【想定する調査方法】</p>
4. 機器の使い勝手 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
5. 介護現場での利用の 継続性に関する こと	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会理事長 殿

事業者名
 担当者所属
 担当者名
 電話番号
 電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書

標記について、下記のとおり報告します。

案件番号		
機器の名称（仮称）		
モニター調査の実施体制		
実施経過	実施時期	主な実施内容
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実施結果 (計画概要書に沿って記入してください)		
市場投入に向けて有用となった事項		
モニター調査後の協力施設との関係		
本事業に対する要望等		

(注1) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

(注2) 本資料は令和6年2月（予定）に行う成果報告に使用するものであり、一般に公表するものではありません。

5. 参考資料（介護施設等向けの様式）

様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書

1. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

※上記「2」を選択した場合には、案件に応じて、Ns、PT、OT、ST等がアドバイスを行うメンバーに入る必要があります。在籍していない場合には、当協会にご相談ください。

2. 希望する案件・機器の名称

案件番号	
企業名	
機器の名称（仮称）	

3. 実施体制

実施機関名			
実施責任者名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わる者 （ <u>アドバイス等に係わる全ての方を記載してください。</u> ）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			

その他	
-----	--

4. 実施機関の概況

介護業務における 現状の課題	
当案件を希望する 理由	

5. アドバイス支援等の具体的な実施方法

実施方法	
------	--

(注) 本事業では、介護職員等の専門職が試用する事業であり、実際の高齢者が試用するものではありません。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書

1. 実施体制

実施機関名			
実施責任者			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の職種と 日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わった担当者 （ <u>アドバイス等に係わった全ての方を記載してください。</u> ）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年

2. 実施結果

案件番号		機器の名称	
企業名			
アドバイス（意見交換） の実施経過	実施日	実施方法等	
使用者の適応範囲に関する留意点、課題			
使用時の利用環境に関する留意点、課題			
期待する効果を発揮するための課題及びその対応策			
使い勝手に関する課題及びその対応策			
特にアドバイス（意見交換）してほしい事柄に対する結果			
その他			

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業）

請 求 書

金 _____ 円

令和5年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作介護機器へのアドバイス支援事業」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	

3. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 実施希望書

1. 希望するモニター調査事業

案件番号		機器の名称	
企業名			

2. 実施体制

実施機関名			
実施責任者氏名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
モニター調査に係わる者 (モニター調査に係わる全ての方を記載してください。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
モニター調査実施可能な期間			
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			
今回、モニター調査を希望する施設としてのねらい			

3. メーカーがモニター調査したい内容に対する対応予定

項目	対応予定

4. 当該機器に対して、介護施設等の側からモニターしたい内容等

項目	モニターしたい内容

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 結果報告書

1. 実施体制

実施機関名			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の資格と 日常業務			
モニター調査に係 わった担当者 (モニター調査に 係わった全ての方 を記載してくださ い。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年

2. 実施状況

案件番号		機器の名称	
企業名			
実施期間	月 日 ~ 月 日		
調査対象とした介護サ ービスの種類・内容			
機器を利用した介護サ ービス場面			
機器を利用した対象者 の状態像、人数			
モニター調査結果の収 集と記録の方法			
応募時と異なったこと 想定していなかったこ と等			
その他			

3. モニター調査結果

<p>利用対象者の適用範囲 (特に留意すべき点など)</p>	
<p>利用環境の条件 (特に留意すべき点など)</p>	
<p>機器の利用効果 (機器の特性に即してあてはまる項目について記入すること。)</p>	<p><u>介護を受ける側への効果</u> (本人のADLやQOLの維持・向上、精神的負担の軽減等)</p>
	<p><u>介護する側への効果</u></p>
	<p><u>介護業務の過程における効果</u> (安全な介護の実施や効率的な介護の実現等)</p>
	<p><u>その他</u></p>
<p>使い勝手や操作機能性</p>	
<p>改良の希望とその理由</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）

請 求 書

金 150,000円

令和5年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護ロボット等モニター調査」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金融機関名	銀行	支店
預貯金種別		
口座番号		
(フリガナ) 口座名		

2. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

公益財団法人テクノエイド協会の概要

○目的

当協会は、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具の臨床的評価、福祉用具関係技能者の養成並びに義肢装具士に係る試験事務等を行うことにより、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。

○設立

- ・ 1987年（昭和62年）3月16日
財団法人設立許可（厚生省社第220号）
- ・ 1987年（昭和62年）4月1日
法人設立登記
- ・ 2011年（平成23年）7月1日
公益財団法人へ移行登記

○主な事業

- ・ 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る事業
- ・ 福祉用具の臨床評価に関する事業
- ・ 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業
- ・ 福祉用具に関する調査研究事業
- ・ 福祉用具の規格化・標準化に関する事業
- ・ 福祉用具関係技能者の養成
- ・ 義肢装具士の国家試験
- ・ その他、福祉用具に係る事業



○所在地

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東・松本・五島（ごしま）
TEL 03-3266-6883

福祉用具・介護ロボットの開発と普及に関する取り組み

これまでの福祉用具・介護ロボットに関する取り組み及び情報、研究報告等は、当協会のホームページに掲載しています。

本事業で必要な様式も以下からダウンロード可能となっています。

<https://www.techno-aids.or.jp/>

